
(教職課程)

I. 教育職員免許状の取得に関する科目

【科目番号：7000 番台】

1.	法と社会（日本国憲法）	(前掲)
2.	スポーツ理論・実技Ⅰ	(前掲)
3.	スポーツ理論・実技Ⅱ	(前掲)
4.	英語で異文化コミュニケーションを学ぶ	(前掲)
5.	ICT リテラシー	(前掲)
6.	教職概論	7001
7.	教育原理	7002
8.	教育心理学	7003
9.	発達心理学	(前掲)
10.	教育社会学	7004
11.	学校経営論	7005
12.	教育課程論	7006
13.	英語科指導法Ⅰ	7007
14.	英語科指導法Ⅱ	7008
15.	英語科指導法Ⅲ	7009
16.	英語科指導法Ⅳ	7010
17.	道徳教育の理論と実践	7011
18.	特別活動論	7012
19.	教育の方法と技術	7013
20.	生徒指導・進路指導論	7014
21.	教育相談	7015
22.	教育実習Ⅰ	7016
23.	教育実習Ⅱ	7017
24.	教育実習事前・事後指導	7018
25.	教職実践演習（中・高）	7019

2020/08/05(水)11:01

授業科目名	教職概論		授業形態	講義
英語科目名	Introduction to the Teaching Profession		開講学期	後期
対象学年	1		単位数	2
科目責任者	石田 美清		ナンバリング	7001
科目担当者				
石田美清				
授業の概要				
教育観や教職観、教職の意義と役割、教師の資質能力について理解し、意欲・関心を高めるだけでなく、教員免許制度、養成教育、採用と研修、職務、教員評価の基礎・基本的内容と事項について知識・理解を深め、教職生活全体を通じて教員の資質能力を総合的に向上させる基礎を培う。最新の中央教育審議会答申等やチーム学校などの教育動向についても取り扱う。				
授業の達成目標				
①我が国における今日の学校教育や教職の社会的意義について理解している。②教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力について理解している。③教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務について理解している。④学校の担う役割が拡大・多様化する中で学校が内外の専門家等と連携・分担して対応するチーム学校運営について理解している。				
成績評価方法				
形成的評価のために毎回小テストを行うが、成績評価は、定期試験(95%)、課題レポート等(5%)によって行う。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
○教員の職務から必然的に求められる基礎的基本的な資質能力を育成する。遅刻、無断欠席は厳禁。 ○授業中にインターネットで資料の検索を行うので、パソコン、タブレット端末、スマートフォンが必要である。				
テキスト・参考書				
【教科書】 赤星晋作編『新教職概論(改訂新版)』学文社、2019。				
オフィスアワー				
オフィスアワー一覧を確認のこと。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
形成的評価のための小テストを授業中に返却する。また、定期試験の結果は開示する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石田美清	ガイダンス;講義の方法・概要・評価について説明する。また、本講義を学ぶ意味を説明し、公教育における教員の存在意義について考える。	【予習】教職も含めた将来就きたい職業について調べておく。(90分) 【復習】教員と他の職業について、年収、福利厚生、やりがい等比較して整理する。(90分)	
2	石田美清	よい先生・そうでない先生(1);受講生の受けた学校教育の中でよかった先生について発表し、他の職業との比較を通じて、教職の特性を理解する。	【予習】九分割表を用いて、「よい先生」について作図する。(90分) 【復習】「よい先生」の資質能力について整理する。(90分)	
3	石田美清	よい先生・そうでない先生(2);受講生の受けた学校教育の中でよくなかった先生について発表し、他の職業との比較を通じて、教職の特性を理解する。	【予習】九分割表を用いて、「よくなかった先生」について作図する。(90分) 【復習】「よくなかった先生」の資質能力について整理する。(90分)	
4	石田美清	教育観と教職観;わが国の様々な教育観や教職観の変遷について学ぶ。	【予習】教科書第1章の教育観と教職観を熟読して課題を抽出しておく。(90分) 【復習】授業中に配布した教育思潮を復習して教職観を整理する。(90分)	
5	石田美清	教職の意義と役割;教職の歴史を概観し、現代の教師への期待と責任、役割について学ぶ。	【予習】戦前と戦後の学校教育の違いについて調べておく。(90分) 【復習】文部科学省のHP、教員経験者のブログなどにより、教師の仕事について感想をまとめる。(90分)	
		教師の資質能力;文部科学省の審議会の答申を中心に、求められる教師の基	【予習】文部科学省のHPより、教員に関する中央教育審議会答申を検索できるようにしておく。(90分)	

6	石田美清	礎的な資質能力について学ぶ。	【復習】昭和62年以降の教員に関する答申で述べられた教師の資質能力をまとめる。(90分)
7	石田美清	教員免許制度;教員免許制度の概要と近年の動向を学び、公教育の目的とその担い手である教員の位置づけや存在意義を理解する。	【予習】「免許」が必要な職業について調べておく。(90分) 【復習】教育職員免許法を復習して、免許制度全体を理解する。(90分)
8	石田美清	教師の養成教育;教員養成カリキュラム、教職大学院について学ぶ。	【予習】教育職員免許法施行規則を調べ、「所要要件」について調べておく。(90分) 【復習】教育職員免許法施行規則を復習して、教職課程のカリキュラム全体を把握して理解する。(90分)
9	石田美清	教育実習と介護等体験;教育実習と介護等体験の意義、目的、実際について学ぶ。	【予習】Youtubeで公開された授業実践を探して視聴しておく。(90分) 【復習】関係法令、中教審答申を復習して、教育実習と介護等体験の意義について理解する。(90分)
10	石田美清	教員の採用と研修;教員採用のシステムと採用後の教員研修について学び、生涯にわたって学び続けることの必要性を理解する。	【予習】受験予定の都道府県の教員採用システムと受験科目等について調べておく。(90分) 【復習】教員採用及び採用後の研修について、おおよそのスケジュールを作成する。(90分)
11	石田美清	教師の職務;教師の身分、サービス、学校の教員組織と校務、教員の職務について学ぶ。	【予習】地方公務員法、教育公務員特例法により教師の身分、サービスを調べておく。(90分) 【復習】都道府県教育委員会のHPより、実際の懲戒と分限の実際について調べる。(90分)
12	石田美清	教員評価;教員評価の経緯、その実態や特質について学ぶ。	【予習】学校評価、教員評価の成立過程について調べておく。(90分) 【復習】受験予定の都道府県の教員評価についてインターネットで調べる。(90分)
13	石田美清	これからの学校と教師;チーム学校の意義や実際を含め、21世紀の学校教育と教師の役割について考える。	【予習】平成28年の中教審答申を参考にして、2030年の日本の教育について調べておく。(90分) 【復習】中教審答申に述べられた教師の資質能力を整理し、チーム学校で果たす役割についてまとめる。(90分)
14	石田美清	私の理想の学校と教師;理想の学校と教師について考え、発表する。	【予習】YoutubeでSociety5.0を視聴しておく。(90分) 【復習】第2回と第3回の授業を振り返り、理想の学校と教師について考える。(90分)
15	石田美清	全体のまとめと課題の抽出;これまでの講義内容をまとめ、履修カルテの課題を抽出する。	【予習】これまでの授業内容をまとめる。(90分) 【復習】履修カルテに課題を抽出する。(90分)
16	石田美清	定期試験。	

2020/08/07(金)15:23

授業科目名	教育原理	授業形態	講義
英語科目名	Educational principles	開講学期	後期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	白川 正樹	ナンバリング	7002
科目担当者			
白川 正樹			
授業の概要			
<p>・教育の理念、歴史、思想について学ぶとともに、子ども・教員・家庭・社会・学校など教育を成り立たせる要素と教育の相互関係について考える。</p> <p>・現代社会における教育課題を教育の理念と教育及び学校の歴史の変遷の観点から考える。</p>			
授業の達成目標			
<p>・教育に関する理念や基本的概念を理解している。</p> <p>・教育の本質、必要性、目的を理解している。</p> <p>・家族と社会による教育の歴史並びに近代教育制度の成立と展開を理解している。</p> <p>・教育の歴史の変遷と現代の教育的課題の関りを理解している。</p> <p>・家庭や子ども、地域社会に関わる教育の思想と学校との関わりを理解している。</p> <p>・学校と学習に関わる教育の思想と実践を理解している。</p>			
成績評価方法			
定期試験(50%)、レポート(30%)、授業への参加度(20%)により総合的に評価する。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
教職課程の履修者にとって、その学修を進めていく上で、基礎となる知識や考え方を涵養する科目の一つである。受講のためには、毎回の授業の予習と復習に着実に取り組み、積極的な態度で本科目に臨んで欲しい。			
テキスト・参考書			
<p><<テキスト>> 授業時にプリントを配布する。</p> <p><<参考書・参考資料等>> ・島田和幸・高宮正貴編集『教育原理(よくわかる! 教職エクササイズ)』2018年 ・汐見 稔幸・伊東 毅・高田 文子・東 宏行・増田 修治編著『よくわかる教育原理』2011年 ・田嶋 一・中野 新之祐・福田 須美子・狩野 浩二編著『やさしい教育原理 第3版』2016年</p>			
オフィスアワー			
火曜日、木曜日10:00～14:00 場所:教職課程指導室(616号) メールアドレス:m.shirakawa.um@juntendo.ac.jp			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業内で適宜フィードバックを行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	白川 正樹	ガイダンス、教育とは何か (本講義の概要、人間とは何か、人間社会と教育、教育・形成・教化、教育と教授)	【予習】教育とは何かについて調べておくこと。(2時間) 【復習】プリントを読み直して授業内容を復習すること。(2時間)
2	白川 正樹	教育の目的 (社会モデルと子弟モデル、公教育の成立、3R's、実質陶冶・形式陶冶、教育基本法第1条)	【予習】公教育の成立過程について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
3	白川 正樹	こどもの発達 (「こどもの発見」、子供観の変遷、成長・成熟・発達をめぐる理論)	【予習】子どもの成長・成熟・発達について調べておくこと。(2時間) 【復習】視聴するVTRのURLを指定する。(2時間)
4	白川 正樹	共同体社会の教育と近代以降の教育 (近代以前の教育、共同体社会の教育)	【予習】近代以前の教育の概略について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)

		目的, 共同体社会の人間形成システム, 近代以降の教育, 方法的社会化)	
5	白川 正樹	学校の歴史 (徒弟制度と学校方式, 日本・欧米・アジアの学校の歴史, 公教育の思想)	【予習】公教育と私教育の違いについて調べておくこと。(2時間) 【復習】講義終了後に提示する課題を次週授業までに作成・提出。(2時間)
6	白川 正樹	海外の教育史(古代ギリシャの教育史と近代の教育思想) (古代ギリシャの教育, ソクラテス, プラトン, アリストテレス, コメニウスロック, ルソーらの教育思想)	【予習】古代ギリシャの哲学者と近代の教育家の思想について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
7	白川 正樹	海外の教育史(近代教育学の成立) (近代教育学の理論, ペスタロッチ, フレーベル, ヘルバルト, デューイらの教育思想)	【予習】近代教育学の思想について調べておくこと。(2時間) 【復習】視聴するVTRのURLを指定する。(2時間)
8	白川 正樹	日本の教育史 (近世の文字文化, 近代学校の成立, 公教育の普及, ヘルバルト学派と新教育, 戦後の学校教育)	【予習】戦前と戦後の教育制度の違いについて調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
9	白川 正樹	教師の仕事と学校① 教育法制と教育行政 (学校教育に関する諸法規, 教職員に関する諸法規, 教育行政に関する法規, 教育政策と教育行政)	【予習】教育関係法規について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
10	白川 正樹	教師の仕事と学校② 教育課程とカリキュラム (教育課程とは, カリキュラムとは, カリキュラムの類型, カリキュラム・マネジメント, 学習指導要領とその変遷)	【予習】教育課程とカリキュラムの違いについて調べておくこと。(2時間) 【復習】最近の新聞記事から教育行政に関する記事を探し, それをもとにレポートを作成。(2時間)
11	白川 正樹	教師の仕事と学校③ 授業実践と教育評価 (授業計画, 学習指導案の作成, 学習形態, 発問・板書・ノート指導)	【予習】学習指導案の作成上の留意点について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
12	白川 正樹	教師の仕事と学校④ 学校・学級の経営, 教師としての成長 (学校経営, 教職員の職務, 職員体制, 学校経営, 学び続ける教師, 教員のキャリアステージ)	【予習】教員の職務と研修制度について調べておくこと。(2時間) 【復習】視聴するVTRのURLを指定する。(2時間)
13	白川 正樹	社会教育と生涯学習 (社会教育とは, 社会教育施設と職員, 生涯学習, 社会学習, 生涯学習の取り組みと課題)	【予習】社会教育施設の種類と役割について調べておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
14	白川 正樹	地域社会と学校 (地域と学校の連携, コミュニティー・スクール, 学校評議員制度, 地域学校協働活動)	【予習】これまでの本講義の内容・ノートを読み直しておくこと。(2時間) 【復習】配布するプリントの空欄補充をして次週提出。(2時間)
15	白川 正樹	現代日本の教育課題 (いじめ, 不登校, 国際化・情報化とこれからの教育, まとめ, ディスカッション)	【予習】ディスカッションの準備。(2時間) 【復習】これまでの授業を振り返り, 現代日本の教育課題について自分の考えをまとめておくこと(2時間)

2020/07/30(木)11:24

授業科目名	教育心理学		授業形態	講義
英語科目名	Educational Psychology		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	吉武 尚美		ナンバリング	7003
科目担当者	吉武 尚美			
授業の概要	教育心理学は、子どもの発達や学習に関する心理学の理論や概念をもとに、現場との協同を経て教育の改善に資する理論的・実践的知見を得る学問である。現在すでに、認知、発達、社会心理学の研究結果をはじめ、神経科学の知見が教育には応用されている。本コースは、教育に関心のある学生に向けて、「発達」「学習」「評価」「特別支援」の4つをテーマに据え、一般原則、理論、テーマ、研究を概説しながら、教育と心理学への興味関心を深めることを目標とする。受講生は、学習と教授法の土台をなす心理学について学び、教師としてあるいは人間の行動に関する生涯学習者としてその成果を用いることが期待される。			
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児・児童・生徒の発達や行動について教育心理学の観点から理解することができる 2. 教育心理学の知見を自分の経験と照らし合わせ、自分なりの意見を持つことができる 3. 教育現場が抱える問題について、教育心理学の知見をもとに、その解決策について自分の考えを持つことができる 			
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成績評価方法 授業の振り返り(10%)、中間テスト・宿題 (35%)、課題レポート (15%)、期末試験 (40%) 2. 成績評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関連する心理学の理論、概念、研究者を正しく理解しているか ・研究者兼教育者として、仮説検証プロセスを適切に実行できるか ・心理学を日常生活に応用し、自らの行動や他者の理解に役立てようとしているか ・リサーチ、発表スキル、グループ学習に意欲的に取り組んでいるか 			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・「心理学概論」を受講していることが望ましい。 ・子どもや教育に関する動向には常に関心を向け、問題意識を持って授業に臨むこと。 ・テキストは最終授業までに2回読破すること。 ・講義、ディスカッション、体験活動で構成します。アクティブに学ぶ姿勢を持つこと。 			
テキスト・参考書	<p>テキスト: 田爪宏二(編著)『教育心理学』(ミネルヴァ書房)</p> <p>参考書: 桜井茂男『たのしく学べる最新教育心理学—教職にかかわるすべての人に』(図書文化)</p> <p>Santock, J.W. (2011). Educational Psychology. New York:McGraw-Hill</p>			
オフィスアワー	月曜日 & 金曜日 12:00~13:00			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生による授業振り返りの記載内容は次回授業内でフィードバックする。 ・レポート課題提示はJuntendo-Passportを使用する。 			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	吉武 尚美	受講ガイダンス 授業目的と展開を説明する。	【予習】教育とは何か、心理学とは何かについて調べる(90分) 【復習】教科書の該当箇所を読む(90分)	
2	吉武 尚美	学習(1) 行動主義心理学における学習理論を学び、叱ること、ほめること、体罰の功罪について考える。	【予習】教科書の該当章を読む。加えて、教育現場における体罰の影響を考える(90分) 【復習】教科書および配布資料を読み、体罰の防止と公正な指導のあり方を理解する(90分)	
3	吉武 尚美	学習(2) 認知心理学から見た学習プロセスや、高度な認知プロセスを学ぶ。	自分の試験前の勉強法とその効果を振り返る。メタ認知について調べる(90分) 【復習】教科書を読み、情報処理論の理解を深める(90分)	
		学習(3) 【ピアティーチング#1】	【予習】学習に対するやる気を高める方法(なるべく多く)とその効果	

4	吉武 尚美	動機づけ理論を学び、動機づけを高める授業のあり方について考える。	をまとめる(90分) 【復習】教科書を読み、学習意欲の定義と研究の動向について把握する(90分)
5	吉武 尚美	発達(1) 認知能力の発達 ピアジェの理論を学ぶとともに、言語発達や、数概念の発達の様相を理解し、発達段階を考慮した教授方法について考える。	【予習】発達に寄与する遺伝と環境に関する諸説を調べる(90分) 【復習】教科書を読み、学習者の発達段階に応じた学習指導のあり方を確認する(90分)
6	吉武 尚美	発達(2) 人格の発達 エリクソンの心理社会的発達段階理論を中心に、自己概念の発達について学び、教師としての適切な関わり方について考える。	【予習】アイデンティティについて調べ、自分のアイデンティティを考える(90分) 【復習】教科書を読み、人格発達の諸理論の理解を定着させる。自分のアイデンティティの確立状況について考えてみる(90分)
7	吉武 尚美	【中間テスト】 発達(3) 社会性の発達 Bronfenbrennerの理論について学び、子どもを取り巻く環境についての意識を高める。	【予習】親と友だちが人格形成に及ぼす役割について考える(90分) 【復習】教科書を読み、理解を定着させる(90分)
8	吉武 尚美	学級の心理学 学級集団の特徴、教師と子どもの関係、子ども同士の関係について学ぶ。	【予習】自らの経験やリサーチを通して理想の教師の条件を5つ考える(90分) 【復習】教科書を読み、学級集団における教師の役割と影響について理解を定着させる(90分) 【レポート課題】授業内で提示する
9	吉武 尚美	学習の心理学 学習指導の理論、協同学習、学習の個性化について学ぶ。	【予習】「わかる授業」とは何か、自分の経験を踏まえながら考えてくる(90分) 【復習】教科書を読み、学習指導の理論の理解を定着させる(90分)
10	吉武 尚美	教育測定と教育評価(1) 教育評価の情報収集、テストの方法、知的能力の測定について学ぶ 【研究発表会】	【予習】教育評価の定義、種類、特徴を調べる。発表準備をする(120分) 【復習】教科書を読み、よりよい評価について理解を深める(90分)
11	吉武 尚美	教育測定と教育評価(2) 教育評価の定義と目的、さまざまな評価方式を学ぶ。	【予習】「頭がいい」とはどんな意味か、自分の経験を踏まえながら要素を3つ考えてくる(90分) 【復習】教科書を読み、個性を重視した視点と評価の方法について理解を深める(90分)
12	吉武 尚美	問題を抱える子どもの理解と支援(1) 学習機能や行動の発達の障がいを持つ幼児・児童・生徒に対し、効果的な特別支援教育を提供するための基礎的な知見を学ぶ。	【予習】これまでの学校経験で特別な教育的ニーズをもっていると感じた同朋に対する自分および教師の関わりを振り返る(90分) 【復習】知能検査の概要を理解するとともに、発達障害について基礎的な知識と関わり方を整理する(90分)
13	吉武 尚美	問題を抱える子どもの理解と支援(2) 【ピアティーチング#2】 精神的不適応、不登校、いじめ、学級崩壊の実態について学ぶ。	【予習】学校不適応の様相とその原因について調べる。ピアティーチングの準備をする(90分) 【復習】教科書を読み、子どもの不適応についての理解を深める(90分)
14	吉武 尚美	問題を抱える子どもの理解と支援(3) 困難に直面する子どもに対する学校カウンセリングの役割や方法について学ぶ。	【予習】スクールカウンセリングの目的と実態について調べる(90分) 【復習】代表的なカウンセリングの特徴を整理し、理解を深める(90分)

2020/02/26(水)10:22

授業科目名	教育社会学	授業形態	講義
英語科目名	Sociology of education	開講学期	後期(集中)
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	高木 誠一	ナンバリング	7004
科目担当者	高木 誠一		
授業の概要	<p>本講義の目的は、現代社会が「教育社会」として構築・構成・構造化されていることを、社会化・選抜配分・正統化の観点から、社会学的に検討することにある。基礎的な文献を読み、講義を聞き、討論や発表を通して「教育社会の構造化」の実態に迫ることを目指す。「教育社会」は、現代社会においては「学校化社会」として構造化されることによって、現代社会を生きる私たちにとって自明となっているが、数々の事例を通して学ぶことによって、「教育社会」が、近代化という未完のプロジェクトによって生成されていること、さらに現代社会が後期近代として再帰性を組み込んだ社会であるがゆえに、必然的に「教育社会」が生成されていることを認識する。「教育社会の構造化」の認識は、教師という専門職者が教授学習過程の社会的意味を理解する鍵となると同時に、グローバルな社会の構造化と変動の中核的なメカニズムを理解する鍵ともなる。</p> <p>本講義の目標は、「現代の学校教育に関する社会的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解し」、「社会の状況を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、ならびにそれに対応するための教育政策の動向を理解する」ことである。</p>		
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「教育社会」は、社会化・選抜配分・正統化によって、構築・構成・構造化されていることを理解している。 2. 学校を巡る近年の様々な状況の変化を理解している。 3. 子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解している。 4. 近年の教育政策の動向を理解している。 5. 諸外国の教育事情や教育改革の動向を理解している。 		
成績評価方法	<p>授業参加度(20%)、毎回の振り返り(30%)、期末テスト(50%)の結果に基づき総合的に評価する。なお、3分の2以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。</p>		
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<p>受講生は授業に参加し、質問、討論や発表を積極的に行うこと。参考図書などが課題として出された場合は、きちんと読み準備して授業にのぞむこと。</p>		
テキスト・参考書	<p>毎回のテーマに沿った参考文献を指示する。</p>		
オフィスアワー	<p>授業の前後を基本とする。</p>		
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	<p>課題提出締切後、授業内でコメントする。</p>		
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	高木 誠一	<p>発達・社会化の社会学 1 「子ども」の社会的構成</p> <p>(1)「児童になる」とはどういうことかについて討論する。</p> <p>(2)「<子ども>の誕生」「学校的社会化」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「児童になる」とはどういうことかについて考えておく。(90分)</p> <p>【復習】学校的社会化についてまとめる。(90分)</p>
2	高木 誠一	<p>発達・社会化の社会学 2 家族集団と子どもの社会化</p> <p>(1)「核家族における役割構造」について討論する。</p> <p>(2)「社会化過程の位相パターン」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「核家族における役割構造」について考えておく。(90分)</p> <p>【復習】社会化過程の位相パターンについてまとめる。(90分)</p>
		<p>発達・社会化の社会学 3 自我の社会</p>	

3	高木 誠一	<p>的形成</p> <p>(1)自我形成における「重要な他者」の影響について討論する。</p> <p>(2)「社会化と社会構造の関連性」について学ぶ。</p>	<p>【予習】自我形成における「重要な他者」の影響について考えておく。(90分)</p> <p>【復習】社会化と社会構造の関連性についてまとめる。(90分)</p>
4	高木 誠一	<p>発達・社会化の社会学 4 後期近代におけるアイデンティティ</p> <p>(1)「物語」としての自己について討論する。</p> <p>(2)「再帰的プロジェクトとしてのアイデンティティ」「自己アイデンティティの両義性」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「物語」としての自己について考えておく。(90分)</p> <p>【復習】再帰的プロジェクトとしてのアイデンティティ、自己アイデンティティの両義性についてまとめる。(90分)</p>
5	高木 誠一	<p>選抜・配分の社会学 1 教育と社会階層</p> <p>(1)学歴社会論と階層社会論の違いについて討論する。</p> <p>(2)「学歴と地位達成」「世代間移動の趨勢」について学ぶ。</p>	<p>【予習】学歴社会論と階層社会論の違いについて考えておく。(90分)</p> <p>【復習】学歴と地位達成、世代間移動の趨勢についてまとめる。(90分)</p>
6	高木 誠一	<p>選抜・配分の社会学 2 メリトクラシーと学歴</p> <p>(1)「メリトクラシーとは何か」について討論する。</p> <p>(2)「メリトクラシーとOED関連」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「メリトクラシーとは何か」について考えておく。(90分)</p> <p>【復習】メリトクラシーとOED関連についてまとめる。(90分)</p>
7	高木 誠一	<p>選抜・配分の社会学 3 学力と意欲の階層差</p> <p>(1)「コールマン報告」について討論する。</p> <p>(2)「学力差をもたらす家族の資源格差」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「コールマン報告」について調べておく。(90分)</p> <p>【復習】学力差をもたらす家族の資源格差についてまとめる。(90分)</p>
8	高木 誠一	<p>選抜・配分の社会学 4 機会の不平等</p> <p>(1)「なぜ大学に進学する人とならない人がいるのか」について討論する。</p> <p>(2)「大学進学による利得についての主観的評価」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「なぜ大学に進学する人とならない人がいるのか」について考えておく。(90分)</p> <p>【復習】大学進学による利得についての主観的評価についてまとめる。(90分)</p>
9	高木 誠一	<p>正統化の社会学 1 文化的再生産論</p> <p>(1)「文化資本」の概念について討論する。</p> <p>(2)「身体化された文化資本、客体化された文化資本、制度化された文化資本」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「文化資本」の概念について調べておく。(90分)</p> <p>【復習】身体化された文化資本、客体化された文化資本、制度化された文化資本についてまとめる。(90分)</p>
10	高木 誠一	<p>正統化の社会学 2 ハビトゥス論</p> <p>(1)「ハビトゥス」の概念について討論する。</p> <p>(2)「習慣化の社会階層生成メカニズム」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「ハビトゥス」の概念について調べておく。(90分)</p> <p>【復習】習慣化の社会階層生成メカニズムについてまとめる。(90分)</p>
11	高木 誠一	<p>正統化の社会学 3 言語コード論</p> <p>(1)「言語コード」の概念について討論する。</p> <p>(2)「日本における言語コードの階層差」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「言語コード」の概念について調べておく。(90分)</p> <p>【復習】日本における言語コードの階層差についてまとめる。(90分)</p>
12	高木 誠一	<p>正統化の社会学 4 ペダゴギー論</p> <p>(1)「生きる力」を教育目標とすることの意味について討論する。</p> <p>(2)「コンペタンス・モデルとパフォーマンス・モデルの意味」について学ぶ。</p>	<p>【予習】「生きる力」を教育目標とすることの意味について考えておく。(90分)</p> <p>【復習】コンペタンス・モデルとパフォーマンス・モデルの意味についてまとめる。(90分)</p>
		<p>教育の社会調査法 1 量的調査法</p> <p>(1)「質問紙調査」とは何かについて討</p>	<p>【予習】「質問紙調査」とは何かについて調べておく。(90分)</p>

13	高木 誠一	論する。 (2)「エラボレーションの意義」について学ぶ。	【復習】エラボレーションの意義についてまとめる。(90分)
14	高木 誠一	教育の社会調査法 2 質的調査法 (1)「フィールドワーク」とは何かについて討論する。 (2)「トライアンギュレーションの意義」について学ぶ。	【予習】「フィールドワーク」とは何かについて調べておく。(90分) 【復習】トライアンギュレーションの意義についてまとめる。(90分)
15	高木 誠一	教育社会学のまとめ グローバル社会と教育社会 (1)「教育社会の構造化」とは何かについて討論する。 (2)「教育社会の構造化」が、グローバルな社会の構造化と変動の中核的なメカニズムであることについて学ぶ。	【予習】「教育社会の構造化」とは何かについて考えておく。(90分) 【復習】「教育社会の構造化」が、グローバルな社会の構造化と変動の中核的なメカニズムであることをまとめる。(90分)

2020/07/30(木)11:22

授業科目名	学校経営論	授業形態	講義 グループ討議
英語科目名	School Management	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	阿部 博之	ナンバリング	7005
科目担当者			
阿部 博之(実務経験有り)			
授業の概要			
<p>[授業全体の内容]</p> <p>現代の学校教育に関する社会的・制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と地域との関連に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身につける。具体的には、学校の機能・学校と教育行政・教員の専門性・学習指導と教育課程・学校事務・学校財務と接遇・学校の危機管理・地域住民や保護者の学校への期待・体罰防止・パワハラやセクハラ防止などを理解し、教員としての資質を養う。</p> <p>この授業は講義とグループ討議(演習)の二本立てとし、意見交換を積極的に行う。加えて毎時、既習内容の確認テストを実施する。</p>			
<p>[授業の位置付け]</p> <p>○予習・復習を前提に授業に臨み、常に高い目標を目指して努力する。</p> <p>○幅広い知識と高い専門性を兼ね備えた教員としての資質を養う。</p> <p>○協働で課題を解決するために必要なコミュニケーション能力や教師としての倫理観を涵養し、学校経営に参画できる教師としての必須な資質を養い、以て教員採用試験に挑戦する端緒とする。</p>			
授業の達成目標			
<p>○学校を取り巻く社会の変化を理解している。</p> <p>○組織としての学校の特質と学校運営の仕方を理解し、これからの学校はどうあるべきか、学校経営の在り方を理解している。</p> <p>○多様化している生徒指導の要点を理解している。</p> <p>○日本と欧米の教育の長所と短所を例示することができる。</p> <p>○教育関係法規を理解している。</p> <p>○教育行政の仕組みを理解している。</p> <p>○学級経営の要点を理解している。</p> <p>○生徒・保護者・教員とのコミュニケーションを円滑に行える。</p> <p>○教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方を理解している。</p> <p>○開かれた学校づくりの方法を理解している。</p> <p>○学校での生活安全管理・交通安全管理・災害安全管理の具体的な取組を理解している。</p> <p>○学校の危機管理(クレーム対応を含む)を理解している。</p> <p>○体罰防止、パワハラ・セクハラ防止について理解している。</p>			
成績評価方法			
<p>・次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。</p> <p>1. 基礎となる評価: 試験の成績、授業態度、出席時の授業への参加状況</p> <p>2. 積上げとなる評価: 毎時行う確認テストとグループ討議の報告の提出状況とその質的内容</p> <p>・定期試験(50%)、確認テスト(20%)、グループ討議報告(20%)、授業への積極的参加態度(10%)により総合的に評価する。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>・中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心をもっている人が受講すること。</p> <p>・教育実習校や母校の学校要覧・教育目標を読み込む。</p> <p>・マスコミの教育関連ニュースや記事に関心を持ち、教育現場の今日的課題について情報を収集し、その対応策の視点をもって授業に臨む。</p> <p>・授業への出席は極めて厳しい水準を要求する。遅刻・早退をせず出席すること。</p>			
テキスト・参考書			
<p>≪テキスト≫</p> <p>特になし。授業の時にプリントを配付する。</p> <p>≪参考書・参考資料等≫</p> <p>「教育小六法」、「学校経営」を論ずる各種書籍、「中学校・高等学校学習指導要領 総則編」(文部科学省)、「中学校・高等学校学習指導要領解説 総則編」(文部科学省)、「東京都立学校の管理運営に関する規則」(東京都教育委員会)、母校の学校要覧・教育目標、教育関連のニュース・新聞記事等</p>			

オフィスアワー			
授業の前後とする(時間:火曜日)			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
授業の中で行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	阿部 博之	授業の進め方と受講心得 教育とは、学校とは、学校教育とは、学校の種類、学校の設置者、学校の現状 授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、これからの学校の在り方についてグループ(以下「G」と表記)討議をする。	【予習】教育とは何か、学校教育とは何か、さらに、学校の種類や学校の設置者について調べておくこと。(参考:「教育基本法」「学校教育法」)など(90分) 【復習】授業全体のイメージをつかむこと。また、学校教育は様々な法規等で定められていることを確認し、「教育」、「学校」、「学校の種類」、「学校の設置者」を確認し整理しておくこと。(90分)
2	阿部 博之	学校教育と教育法規 憲法・教育基本法・地方公務員法・教特法・法規法令・学校教育法・同施行規則・服務事故事例研究 確認テスト。G討議発表。授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。	【予習】学校教育を規定する法規を読み込んでおくこと。特に教育に関わる憲法、教育基本法にどのようなことが記載されているかを調べておくこと。(90分) 【復習】教育や教職員に関わる様々な法規等を確認し整理しておくこと。(90分)
3	阿部 博之	教育行政(地教行法)と学校、教育委員会制度 地教行法と学校の関係、新しい教育委員会制度、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、日本の学校教育の優れている点と改善すべき点(欧米と比較して)についてG討議をする。	【予習】教育委員会と学校の関係はどの法規に示されているのかと内容について調べておくこと。(90分) 【復習】教育委員会と学校の間わりについて確認し整理しておくこと。(90分)
4	阿部 博之	学校経営と組織マネジメント① 学校の管理・運営、学校経営方針、学校運営組織、個人研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営方針の策定(どんな学校を創りたいか)にういて個人研究をする。	【予習】学校の管理・運営の内容を調べておくこと。母校の学校教育目標についても調べておくこと。(90分) 【復習】学校の管理・運営について確認し整理しておくこと。学校ごとに定められている学校教育目標について確認し整理しておくこと。(90分)
5	阿部 博之	学校経営と組織マネジメント② 組織マネジメント、学校経営戦略、学級経営・学年経営、私の理想の教師像、私の理想の教師像、学校経営に当たったの基本的なこと。 確認テスト、個人研究発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校経営に当たって基本的なこと(4つの側面)についてG討議をする。	【予習】学校の管理・運営組織の内容を調べておくこと。4Mの条件やPDCAサイクルの内容を調べておくこと。学級や学年、教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動などについて調べておくこと。また、成果を挙げている学校の経営戦略を調べておくこと。(90分) 【復習】4Mの条件やPDCAサイクルを確認し整理しておくこと。自分の目指す教師像を確立する(90分)
		学校の組織(校務分掌・職員会議・主任)	

6	阿部 博之	校務分掌の決定 職員会議の機能と運営 主任の役割、桃太郎の鬼退治を学校経営に例えると 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、「桃太郎の家来の能力、鬼退治を学校経営に例えると」についてG討議をする。	【予習】校務分掌とは何か。職員会議の果たす役割を調べておくこと。「参考：東京都立学校の管理運営に関する規則など」、また、母校の学校要覧又は学校案内に目を通しておくこと。主任の仕事調べておくこと。(90分) 【復習】校務分掌について整理しておくこと。職員会議の位置付けについて理解し整理しておくこと。主任の役割について確認しておくこと。桃太郎の鬼退治と学校経営について整理しておくこと。(90分)
7	阿部 博之	教育課程に関わる組織運営、学習指導に関わる組織運営、学力(学力の樹)とは、深い学び、進路実現の戦略 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、①深い学びに②進路実現のための戦略についてG討議をする。	【予習】「中学校・高等学校学習指導要領解説総則編」の「指導計画の作成」等を調べておくこと。また、第3章第5節「教育課程実施上の配慮事項」について調べておくこと。(90分) 【復習】学校の大きな柱である「学習指導」の指導計画・編成とそれに関わる組織について確認し整理しておくこと。また、「深い学び」について確認し整理しておくこと。(90分)
8	阿部 博之	生徒指導に関わる組織運営(学級・学年・授業・特別活動・校則) 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、校則についてG討議をする。	【予習】生徒指導に関わる組織として「学級経営・学年経営・授業経営・特別活動・校則」について調べておくこと。(90分) 【復習】生徒理解の上で成り立っている生徒指導について、その内容と組織的に実施(運営)されていることを確認し整理しておくこと。(90分)
9	阿部 博之	生徒指導(問題行動・子どもの心のサイン・絆づくり) 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントにそって講義を進める。その上で、いじめ防止(心の居場所づくり)についてG討議をする。	【予習】いじめの未然防止について調べておくこと。(90分) 【復習】いじめの未然防止と「絆づくり」と「居場所づくり」について確認し整理しておくこと。(90分)
10	阿部 博之	学校事務、施設・設備と学校財務、 服務事故事例研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。	【予習】学校事務の果たす役割について調べておくこと。施設・設備の管理と学校財務について調べておくこと。(90分) 【復習】学校財務の果たす役割について確認し整理しておくこと・施設・設備の管理と学校財務について確認し整理しておくこと。(90分)
11	阿部 博之	学校の危機管理 ①学校の危機管理とは、防犯、交通安全、 服務事故事例研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議をする。	【予習】学校の危機管理とは何か、自分の考えをまとめておくこと。具体的に、防犯、交通安全の内容について調べておくこと。(90分) 【復習】学校の危機管理とは何か、防犯、交通安全の内容を確認し、対応策を実践できるようにするために整理しておくこと。(90分)
12	阿部 博之	学校の危機管理(食物アレルギー・心臓突然死・災害安全)、 服務事故事例研究 確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、服務事故事例研究のG討議を	【予習】食物アレルギーや心臓突然死や災害安全での安全対策と様々な学校の危機管理とは何か、自分の考えと対応策を考えておくこと。(90分) 【復習】食物アレルギーや心臓突然死や災害安全を確認し整理し、対応策をしっかりと身に付けること。(90分)

		する。	
13	阿部 博之	<p>学校の危機管理(接遇・クレーム対応) 学校危機管理に関する事例研究</p> <p>確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校の危機管理に関する事例研究のG討議をする。</p>	<p>【予習】来校者に失礼のない接遇の仕方について調べておくこと。様々なクレームへの対応策を考えておくこと。(90分)</p> <p>【復習】グループ討議での内容を振り返るとともに学校の危機管理内容と対応策等を確認し整理しておくこと。クレーム対応の仕方を確認し整理しておくこと。(90分)</p>
14	阿部 博之	<p>学校自己評価、生徒・保護者の評価、学校評議員会、PTA、学校危機管理に関する事例研究</p> <p>確認テスト、G発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、学校の危機管理に関する事例研究のG討議をする。</p>	<p>【予習】学校自己評価の内容を調べておくこと。学校評議員会の内容を調べておくこと。PTAについて調べておくこと。(90分)</p> <p>【復習】学校自己評価と学校自己評価が行われる根拠と内容、生かし方、さらに学校評議員会やPTAの活用の仕方について確認し整理しておくこと。(90分)</p>
15	阿部 博之	<p>部活動と体罰防止 セクハラ防止、パワハラ防止</p> <p>確認テスト、G討議発表、授業中に配付するプリントに沿って講義を進める。その上で、①セクハラ防止 ②パワハラ防止についてG討議をする。</p>	<p>【予習】「高等学校学習指導要領解説総則編」の部活動について触れている内容を調べておくこと。部活動指導について理想的な関わり方について調べておくこと。体罰防止の方策について調べておくこと。セクハラ、パワハラの実態について調べおくこと。(90分)</p> <p>【復習】望ましい部活動指導について確認し整理しておくこと。体罰のない部活動指導について確認し整理しておくこと。セクハラ防止・パワハラ防止について確認し整理しておくこと。(90分)</p>

2020/07/30(木)11:26

授業科目名	教育課程論		授業形態	講義
英語科目名	Curriculum Theory		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	石田 美清		ナンバリング	7006
科目担当者				
石田美清				
授業の概要				
歴史的な観点から「教育課程」に関連した用語の意味を理解し、また各国の学校の教育内容の違いをもとに、わが国の教育課程の特色を理解する。昭和22年以降の社会的背景を踏まえた学習指導要領の改訂の内容を理解し、さらに平成29年の中央教育審議会答申の意義、並びに学校教育制度改革の進行をもとにして、実際の教育課程編成におけるカリキュラムマネジメントについて理解を深める。				
授業の達成目標				
①学校において教育課程が有する役割・機能・意義について理解している。②教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法について理解している。③教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校の教育課程全体をマネジメントすることの意義について理解している。				
成績評価方法				
形成的評価のために毎回小テストを行うが、成績評価は、定期試験(95%)、課題レポート等(5%)によって行う。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
○教員の職務から必然的求められる基礎的基本的な資質能力も育成する。遅刻、無断欠席は厳禁。 ○授業中にインターネットで資料の検索を行うので、パソコン、タブレット端末、スマートフォンが必要である。				
テキスト・参考書				
【参考書】 ○文部科学省『中学校学習指導要領解説総則編』東山書房、平成29年。 ○文部科学省『高等学校学習指導要領解説総則編』東山書房、平成30年。				
オフィスアワー				
オフィスアワー一覧を確認のこと				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
形成的評価のための小テストを授業中に返却する。また、定期試験の結果は開示する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石田美清	ガイダンス;講義の方法・概要・評価について説明する。	【予習】小学校、中学校、高等学校で体験した時間割を想起しまとめておく。(90分) 【復習】教科・領域、時間数など、学校種の違いについて整理する。(90分)	
2	石田美清	言葉の定義;教育課程、カリキュラム、学習指導要領など関連用語を歴史的視点から整理して、学校の教育内容の編成を理解する。	【予習】教育課程、カリキュラム、学習指導要領の意味についてインターネットで調べる。(90分) 【復習】Curriculum、Course of Study、教科課程、教育課程、カリキュラムについて説明できるよう復習する。(90分)	
3	石田美清	世界の学校とカリキュラム;世界の学校の三類型と教育内容の違いについて理解する。	【予習】二宮皓編著『世界の学校』(学事出版)により、世界の学校教育の違いについて学習しておく。(90分) 【復習】インターネットにより、ヨーロッパと英米の学校のカリキュラムを調べる。(90分)	
4	石田美清	学習指導要領の法的位置づけ;憲法、学校教育法、学校教育法施行規則、文部科学省通知等における学習指導要領の位置づけについて理解する。	【予習】学校関連法を調べ、憲法、学校教育法、同施行規則、文科省通知の法体系を理解しておく。(90分) 【復習】学習指導要領の法的位置づけについて最高裁判所判例を調べる。(90分)	
5	石田美清	学習指導要領の理解(1);昭和22年と昭和26年の学習指導要領の内容とその社会的背景について理解する。	【予習】昭和20年9月2日から昭和27年までの日本教育史を理解しておく。(90分) 【復習】GHQ、CIE、米国教育使節団のカリキュラムの考え方を整理する。(90分)	
		学習指導要領の理解(2);昭和33年(中学校)と昭和35年(高等学校)の学習指	【予習】日本が独立した昭和27年以降の日本教育史を理解してお	

6	石田美清	導要領の内容、さらに道徳の時間の新設の背景について理解する。	く。(90分) 【復習】「道徳の時間」が導入された経緯について調べる。(90分)
7	石田美清	学習指導要領の理解(3);昭和44年(中学校)と昭和45年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらにクラブ活動必修化の背景について理解する。	【予習】「期待される人間像」など高度成長期の日本教育史について学習しておく。(90分) 【復習】教育内容の現代化について説明できるようにする。(90分)
8	石田美清	学習指導要領の理解(4);昭和52年(中学校)と昭和53年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらに「ゆとりの時間」について理解する。	【予習】学校教育に「ゆとり」が導入されたのかを調べておく。(90分) 【復習】昭和40年代の学習指導要領の教科領域と比較対照ができるようにする。(90分)
9	石田美清	学習指導要領の理解(5);平成元年の中学校と高等学校の学習指導要領の内容、さらに部活動について理解する。	【予習】平成元年の時代背景について調べておく。(90分) 【復習】「自己教育力」について学習を深める。(90分)
10	石田美清	学習指導要領の理解(6);平成10年(中学校)と平成11年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらに「総合的な学習の時間」について理解する。	【予習】平成元年から平成10年の時代背景について調べておく。(90分) 【復習】「総合的な学習の時間」新設の経緯について学習する。(90分)
11	石田美清	学習指導要領の理解(7);平成20年(中学校)と平成21年(高等学校)の学習指導要領の内容、さらに「特別な教科である道徳」について理解する。	【予習】平成15年の学習指導要領一部改訂について中教審答申を調べておく。(90分) 【復習】中教審答申で述べられた子供の実態と課題について学習する。(90分)
12	石田美清	学習指導要領の理解(8);平成28年の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」の内容を把握し、特に社会に開かれた教育課程、カリキュラムマネジメントについて理解する。	【予習】当該答申を文科省HPより事前に読んでおく。(90分) 【復習】「カリキュラムマネジメント」「アクティブラーニング」について実例を調べる。(90分)
13	石田美清	学習指導要領の理解(9);平成29年(中学校)と平成30年(高等学校)の学習指導要領の内容を理解する。	【予習】教育実行再生会議の報告をもとに、教育改革の動向について学習しておく。(90分) 【復習】小学校、中学校、高等学校の「英語教育」の内容について習熟する。(90分)
14	石田美清	学習指導要領の理解(10);学習指導要領によらない教育課程の編成を行っている研究開発学校、教育課程特例校の事例について理解する	【予習】学校教育法により「研究開発学校」「教育課程特例校制度」を調べておく。(90分) 【復習】「研究開発学校」の事例を探し、その特徴を調べる。(90分)
15	石田美清	全体のまとめと課題の抽出;これまでの講義内容をまとめ、履修カルテの課題を抽出する。	【予習】これまでの授業内容をまとめる。(90分) 【復習】履修カルテに課題を抽出する。(90分)
16	石田美清	定期試験	

2020/02/26(水)15:31

授業科目名	英語科指導法I		授業形態	講義
英語科目名	English Teaching Methodology I		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	小野田 榮		ナンバリング	7007
科目担当者	小野田 榮			
授業の概要	講義に加え、ディスカッションやワークショップを多く取り入れ、自ら授業を体験してもらうことで指導のポイントを体得してもらう。授業では、中学校での指導法の理解を基に、高等学校における指導技術を学ぶ、現場の教師による授業実演を取り入れる予定である。Oral Introduction (口頭導入)を中心に指導する。英語で執筆するレポートが多いので、履修者は正しい英文を書くように日々文法の勉強をしてほしい。			
授業の達成目標	中学や高校での英語で行う授業の基本的な指導技術を習得する。			
成績評価方法	1. 授業に取り組む姿勢: 20% 2. 授業の予習: 10% 3. 課題: 10% 4. レポート: 20 % 5. 授業実演: 20% 6. テキスト担当部分のまとめと発表 20%			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	授業には必ず予習をして臨み、課題やレポートの提出期限を守る。また、この授業の終わりまでには、TOEFL500点または英検準1級を取得できるよう日々英語の勉強に力を入れること。欠席は3回までとし、それ以上欠席した場合には、単位は取得できない。			
テキスト・参考書	Paul Nation, (2013). What Should Every EFL Teacher Know? Compass Publishing.			
オフィスアワー	火曜日4限、教職課程指導室にて。ただし、事前にアポイントメント取ること。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内で適宜返却を行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	小野田 榮	Chapter 1 What Should an English Teacher Do?	予習:シラバスを熟読のうえ授業に臨むこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
2	小野田 榮	Chapter 2 How Do You Teach Listening and Speaking?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
3	小野田 榮	Chapter 2 How Do You Teach Listening and Speaking?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
4	小野田 榮	Chapter 3 How Do You Make Good Problem-Solving Activities?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
5	小野田 榮	Chapter 3 How Do You Make Good Problem-Solving Activities?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
6	小野田 榮	Chapter 4 How Do You Teach Reading?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
7	小野田 榮	Chapter 4 How Do You Teach Reading?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
8	小野田 榮	Chapter 5 How Do You Teach Writing?	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)	
9	小野田 榮	Chapter 5 How Do You Teach Writing?	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)	
		Chapter 6 How Do You Teach Pronu	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分)	

10	小野田 榮	nciation and Spelling?	復習:授業の振り返りを行うこと(90分)
11	小野田 榮	Chapter 6 How Do You Teach Pronunciation and Spelling?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)
12	小野田 榮	Chapter 7 How Do You Teach Vocabulary?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)
13	小野田 榮	Chapter 7 How Do You Teach Vocabulary?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)
14	小野田 榮	Final teaching demonstrations	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)
15	小野田 榮	Final teaching demonstrations	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)

2020/02/26(水)15:31

授業科目名	英語科指導法II		授業形態	講義
英語科目名	English Teaching Methodology II		開講学期	後期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	小野田 榮		ナンバリング	7008
科目担当者				
小野田 榮				
授業の概要				
The four stands of teaching (4種類の活動を用いた指導法)およびlinked skills (4技能を統合した指導法)を中心に、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの指導法を体験し、最後に学生自ら授業を計画し実演してもらう予定である。				
授業の達成目標				
中学や高校での英語で行う授業の基本的な指導技術を習得する。				
成績評価方法				
1. 授業に取り組む姿勢: 20% 2. 授業の予習: 20% 3. 課題: 20% 4. レポート: 20 % 5. 授業実演: 20%				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
授業には必ず予習をして臨み、課題やレポートの提出期限を守る。また、この授業の終わりまでには、TOEFL500点または英検準1級を取得できるよう日々英語の勉強に力を入れること。欠席は3回までとし、それ以上欠席した場合には、単位は取得できない。				
テキスト・参考書				
Paul Nation, (2013). What Should Every EFL Teacher Know? Compass Publishing.				
オフィスアワー				
火曜日4限、教職課程指導室にて。ただし、事前にアポイントメントを取る。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業内で適宜返却を行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	小野田 榮	Chapter 8 How Do You Teach Grammar?	予習:シラバスを熟読のうえ授業に臨むこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
2	小野田 榮	Chapter 8 How Do You Teach Grammar?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
3	小野田 榮	Chapter 11 Twenty Additional Techniques for Language Learning	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
4	小野田 榮	Chapter 11 Twenty Additional Techniques for Language Learning	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
5	小野田 榮	Chapter 12 How Do you Test Learners?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
6	小野田 榮	Chapter 12 How Do you Test Learners?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
7	小野田 榮	Chapter 13 How Do you Plan a Lesson?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
8	小野田 榮	Chapter 13 How Do you Test Learners?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
9	小野田 榮	Chapter 15 How Do you Deal With Teaching Problems?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
10	小野田 榮	Chapter 15 How Do you Deal With Teaching Problems?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	
11	小野田 榮	Chapter 16 How Do You Control a Class?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)	

12	小野田 榮	Chapter 16 How Do You Control a Class?	予習:授業内で出された指示内容に従うこと(90分) 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)
13	小野田 榮	Chapter 17 How Do You Become a Better English Teacher?	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)
14	小野田 榮	Chapter 17 How Do You Become a Better English Teacher?	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)
15	小野田 榮	Preparation for teaching practice	Teaching plan, handout, PowerPoints(予習復習各90分とする)

2020/02/26(水)13:17

授業科目名	英語科指導法III		授業形態	講義
英語科目名	English Teaching Methodology III		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	吉野 康子		ナンバリング	7009
科目担当者	吉野 康子			
授業の概要	<p>中学校・高校などの英語科教員志望者を対象として、授業を行うために必要な知識と技能を育成していく授業である。学習指導要領に基づいて英語教育目標、内容、指導上の留意点を学ぶことから始め、中学校の英語の授業を想定して、授業の組み立て方を具体的に学んでいく。さらに、教科書を使用して教材研究と指導案の作成、模擬授業を行い、相互に授業観察を行う活動を通じて、授業の方法を総合的に学ぶ。</p>			
授業の達成目標	<p>1. 英語教員として必要とされる、基本的な指導技能を養う。 2. 英語教員として必要とされる、日英語の知識、言語観を養う。</p>			
成績評価方法	<p>授業参加度・課題提出物(30%)、模擬授業(20%)、授業内試験(50%)の結果に基づき総合的に評価する。なお、3回以上の欠席は、単位履修が不可能となる。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<p>中学に焦点を当て、実践を交えながら英語教授法を学ぶ授業であるので、受講生同士の模擬授業に積極的に協力、参加、議論することを望む。シラバスを見て、テキストの次の単元を必ず読み予習しておくことが必須である。</p>			
テキスト・参考書	<p>『総合的英語科教育法』村野井仁他・成美堂 『New Crown English Series I-III』高橋貞夫他・三省堂 『中学校学習指導要領』東山書房、『高等学校学習指導要領』東山書房 * 学習指導要領は文科省HPからダウンロード可能</p>			
オフィスアワー	<p>専任教員のオフィスアワー一覧表を参照のこと。</p>			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	<p>次の授業時に返却、フィードバックする。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	吉野 康子	<p>初回ガイダンス (1) 授業計画、授業の進め方、受講にあたっての留意点を説明する。 (2) 自身の中学校の授業経験、英語教育に関して話し合う。</p>	<p>【予習】シラバスの内容をよく確認しておくこと(90分)。テキストを持参すること。 【復習】講義内に配布する授業計画を読んでくる。(90分)</p>	
2	吉野 康子	<p>英語教育の目的:なぜ英語を学ぶのか (1) 英語学習の意義 (2) 教育の目的と英語教育</p>	<p>【予習】ハンドアウトの「英語教育の目的」を読んでくる。(90分) 【復習】中学生の質問に答える課題をまとめる。(90分)</p>	
3	吉野 康子	<p>英語教育の指導目標(1): 学習指導要領とは何か (1) 学習指導要領が示す基本方針 (2) 学習指導要領の変遷</p>	<p>【予習】現在の学習指導要領を読んでくる。(90分) 【復習】学習指導要領に関して渡したハンドアウトの課題をまとめる。(90分)</p>	
		<p>英語教育の指導目標(2):何をどこまで教えるか (1) 学習指導要領における英語各科目</p>		

4	吉野 康子	の目標 (2) コミュニケーション能力の構成要素: a. 言語能力 b. 方略能力 c. 認知能力 d. 世界事情に関する知識・考え e. 態度・姿勢	【予習】ハンドアウトの「英語教育の指導目標」を読んでくる。(90分) 【復習】コミュニケーション能力に関してまとめる。(90分)
5	吉野 康子	英語指導方法 (1): 英語指導目標 (1) 目標設定と指導および評価 (2) 年間指導計画	【予習】ハンドアウトの「英語指導方法」を読んでくる。(90分) 【復習】中学校における到達目標をまとめる。(90分)
6	吉野 康子	英語指導方法 (2): 指導過程 (1) 理解活動と表現活動を融合した指導過程 (2) 理論と実践を融合させるため、実際の現場でコミュニケーション活動中心の指導を行っているゲストスピーカーによる講演	【予習】実例のハンドアウト「英語指導方法」を読んでくる。(90分) 【復習】ゲストスピーカーの講演を踏まえて、重視する指導過程別の授業形態をまとめる。(90分)
7	吉野 康子	英語指導方法 (3): 授業の流れから見た指導技術・主な指導技術 (1) 挨拶、ウオーミング・アップ、復習、オーラル・イントロダクション、新出言語項目の導入、理解活動、読後活動・表現活動 (2) クラスルーム・イングリッシュ、発音指導、文字指導、語彙指導、文法指導	【予習】前回のまとめをふまえて、更なる実例のハンドアウト「英語指導方法」を読んでくる。(90分) 【復習】指導技術の中で、マイクロティーチングを行う予定の指導技術をより調査し、まとめる。(90分)
8	吉野 康子	英語科学習指導案 (1) (1) 中学校2年生「英語」: 技術統合型の授業 (2) 学習指導案モデルの検討	【予習】ハンドアウトの「英語科指導案の作成の仕方」と「英語科指導案」を読んでくる。(90分) 【復習】授業中に配布の学習指導案を比較・検討する。(90分)
9	吉野 康子	英語科学習指導案 (2) (1) 英語科学習指導案作成上の留意点 (2) グループで項目別授業実演の検討・準備	【予習】学習指導案のモデルを作成してくる。(90分) 【復習】項目別の授業実演をまとめる。(90分)
10	吉野 康子	模擬授業 (1) (1) 授業実演項目: 復習、新語導入、オーラル・イントロダクション、内容理解、文法、音読、言語活動、題材の深化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
11	吉野 康子	模擬授業 (2) (1) 授業実演項目: 復習、新語導入、オーラル・イントロダクション、内容理解、文法、音読、言語活動、題材の深化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
12	吉野 康子	模擬授業 (3) (1) 授業実演項目: 復習、新語導入、オーラル・イントロダクション、内容理解、文法、音読、言語活動、題材の深化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
		模擬授業 (4)	

13	吉野 康子	(1) 授業実演項目:復習、新語導入、 オーラル・イントロダクション、内容理解、 文法、音読、言語活動、題材の深化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
14	吉野 康子	英語教育の目的、指導目標、指導方法の総括 (1) 学習指導案に関する質疑・応答 (2) 試験	【予習】この学期に学んだことを見直し、自分の指導案の作成も考える。(90分) 【復習】学習指導案を振り返る。(90分)
15	吉野 康子	まとめ (1) 試験の返却、解説、フィードバック (2) 英語科指導法Ⅲの授業において考えたことの意見交換	【予習】英語科指導法の授業で考えたことをまとめてくる。(90分) 【復習】総振り返りを行うこと(90分)

2020/07/30(木)11:13

授業科目名	英語科指導法Ⅳ		授業形態	講義
英語科目名	English Teaching Methodology Ⅳ		開講学期	後期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	吉野 康子		ナンバリング	7010
科目担当者	吉野 康子			
授業の概要	英語科指導法Ⅲの授業や授業実践を踏まえ、教育実習を前提として、指導案の作成や模擬授業を中心に進める授業である。中学校の英語の授業を想定して、実践的な英語力も高めていく。また英語教師として必要な評価、テスト、教授法、英語教師論等の理論的構築も合わせて行う。			
授業の達成目標	1. 英語教員として必要とされる教授法の知識、指導技能を養う。 2. 異文化間教育の知見を英語教育に活かし、英語教員としての資質を養う。			
成績評価方法	授業参加度・課題提出物(30%)、模擬授業(20%)、授業内試験(50%)の結果に基づき総合的に評価する。なお、3回以上の欠席は、単位履修が不可能となる。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	中学に焦点を当て、実践を交えながら英語教授法を学ぶ授業であるので、受講生同士の模擬授業に積極的に協力、参加、議論することを望む。シラバスを見て、テキストの次の単元を必ず読み予習しておくことが必須である。			
テキスト・参考書	『総合的英語科教育法』村野井仁他・成美堂 『New Crown English Series I-Ⅲ』高橋貞夫他・三省堂 『中学校学習指導要領』東山書房、『高等学校学習指導要領』東山書房 * 学習指導要領は文科省HPからダウンロード可能			
オフィスアワー	専任教員のオフィスアワー一覧表を参照のこと。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	次の授業時に返却、フィードバックする。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	吉野 康子	初回ガイダンス (1) 授業計画、授業の進め方、受講にあたっての留意点を説明する。 (2) 夏休みの課題に関して、自分がどのように取り組んだか話し合う。	【予習】シラバスの内容をよく確認しておくこと(90分)。テキストと夏休みの課題を持参すること。 【復習】講義内に配布する授業計画を読んでくる。(90分)	
2	吉野 康子	英語評価と言語テスト (1) 言語テストの目的と種類と役割、条件 (2) 英語能力の捉え方と観点別評価 (3) 言語テストの作成と実施 (4) 言語テスト・評価のための統計初歩	【予習】ハンドアウトの「英語評価と言語テスト」を読んでくる。(90分) 【復習】指定された単元の到達度を測る言語テストを作成する。(90分)	
3	吉野 康子	第2言語習得理論 (1) インプットの役割 (2) インタラクションの役割 (3) アウトプットの役割 (4) 文法指導の役割: フォーカス・オン・フォーム、明示的の文法知識の役割、処	【予習】ハンドアウトの「第2言語習得理論」と提示した文献を読んでくる。(90分) 【復習】これまでの自分の第2言語習得を振り返り、学んだ理論との	

		理可能性理論 (5) 社会文化理論 (6) 関与負荷仮説 (7) 第二言語習得の認知プロセス	関連性をまとめる。(90分)
4	吉野 康子	外国語教授法 (1) 文法訳読法 (2) 直接教授法 (3) オーラル・メソッド (4) オーラル・アプローチ (5) コミュニカティブ・アプローチ (6) ナチュラル・アプローチ (7) タスク中心教授法 (8) 内容中心教授法 *それぞれの指導原理と主なねらい、指導方法の概略、特徴、問題点、英語科教育への適用を扱う。	【予習】ハンドアウトの「外国語教授法」を読んでくる。(90分) 【復習】これまでに自分が受けてきた英語の授業は、どのような教授法に基づくものであったか分析する。(90分)
5	吉野 康子	英語教師論:プロの英語教師になるために (1) 英語教師の役割 (2) 英語教師に必要な資質と技能 (3) 英語教師に必要な指導技能 (4) 英語教師に必要な資質と技能チェックリスト	【予習】ハンドアウトの「英語教師論」を読んでくる。(90分) 【復習】英語教師としての力量を高めるため、何をすべきか具体的プランとまとめる。(90分)
6	吉野 康子	小学校外国語教育 (1) 世界の小学校外国語教育の状況 (2) 日本の小学校における外国語教育 (3) 小学校学習指導要領における外国語目標 (4) 小学校の外国語に関する検討事項	【予習】ハンドアウトの「小学校外国語教育」を読んでくる。(90分) 【復習】小学校で授業をするために必要な技術、能力、知識をまとめる。(90分)
7	吉野 康子	英語教育と異文化理解 *ゲストスピーカーによる講演 「英語教育とユニバーサルデザイン」 質疑応答、ディスカッションを通して、異文化理解やユニバーサルデザインを考える	【予習】ハンドアウトの「英語教育と異文化理解」を読み、関連性を考える。(90分) 【復習】ユニバーサルデザインの講演を振り返り、英語教育における可能性をまとめる。(90分)
8	吉野 康子	英語科学習指導案(1) (1) 中学校2年生「英語」:技術統合型の授業 (2) 学習指導案モデルの検討	【予習】ハンドアウトの「英語科指導案」を読んでくる。(90分) 【復習】授業中に配布の学習指導案を比較・検討する。(90分)
9	吉野 康子	英語科学習指導案(2) (1) 英語科学習指導案作成上の留意点 (2) グループで項目別授業実演の検討・準備	【予習】学習指導案のモデルを作成してくる。(90分) 【復習】項目別の授業実演をまとめる。(90分)
10	吉野 康子	模擬授業(1) (1) 授業実演項目:復習、新語導入、オーラル・イントロダクション、内容理解、文法、音読、言語活動、題材の深化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
11	吉野 康子	模擬授業(2) (1) 授業実演項目:復習、新語導入、オーラル・イントロダクション、内容理解、文法、音読、言語活動、題材の深	【予習】模擬授業の準備をする。(90分)

		化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
12	吉野 康子	模擬授業 (3) (1) 授業実演項目: 復習、新語導入、 オーラル・イントロダクション、内容理 解、文法、音読、言語活動、題材の深 化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
13	吉野 康子	模擬授業 (4) (1) 授業実演項目: 復習、新語導入、 オーラル・イントロダクション、内容理 解、文法、音読、言語活動、題材の深 化の分担確認 (2) 模擬授業後のディスカッション	【予習】模擬授業の準備をする。(90分) 【復習】授業実演項目別に振り返り、まとめる。(90分)
14	吉野 康子	英語教育の目的、指導目標、指導方法 の総括 (1) 学習指導案に関する質疑・応答 (2) 試験	【予習】この学期に行った内容を見直し、自分の指導案の課題を考 える。(90分) 【復習】学習指導案を振り返る。(90分)
15	吉野 康子	まとめ (1) 試験の返却、解説、フィードバック (2) 英語科指導法Ⅳの授業において考 えたことの意見交換	【予習】英語科指導法の授業で考えたことをまとめてくる。(90分) 【復習】意見交換を踏まえて、最後に作成した英語科指導案を修正 して、次年度に備える。(90分)

2020/08/05(水)11:06

授業科目名	道徳教育の理論と実践		授業形態	講義
英語科目名	Moral Education Theory and Practice		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	梶川 萌		ナンバリング	7011
科目担当者	梶川 萌			
授業の概要	<p>本講義では、道徳教育及び「特別の教科 道徳」(道徳科)の特質や内容を理論と実践の両面から学ぶことで、専門的知識と実践的指導力を身につけることを目指す。道徳の「特別の教科」化に伴い、学校教育で道徳を教える(指導する)ことの持つ意味や可能性は、今改めて問われている。講義内ではこうした重要な問いに立ち返り、道徳の本質や道徳教育の諸課題を検討し、道徳教育の歴史を概説する。そのうえで特色ある優れた道徳教育実践を紹介することで、履修者が自ら道徳教育の授業を構成するための知識技能を身につけることを目指す。</p>			
授業の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の意義や原理に基づき、道徳の本質を説明できる。 ・ 学校における道徳教育の歴史と現状を理解している。 ・ 学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標及び主な内容を理解している。 ・ 学校における道徳教育及び道徳科における指導計画や指導方法、実践に際する留意点を理解している。 ・ 道徳科の授業を自ら組み立てることができる。 			
成績評価方法	<p>1 成績評価方法:授業内で各自作成する道徳の学習指導案(40%)と定期試験(60%)を統合して評価する。 2 成績評価基準:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳および道徳教育についての多様な立場を理解したうえで、定期試験で自らの考えを論理的に展開することができるか。 ・ 学校教育における道徳科の位置付けと特性を把握し、それをもとに自ら指導案を作成することができるか。 ・ 価値に関わる教育をする際に留意すべき点や注意すべき点を理解し、指導案内で指導内容や方法へ反映することができるか。 <p>※以上のほか、全授業の3分の2以上の出席がない場合、定期試験の受験資格を喪失することに注意してください。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	特になし。			
テキスト・参考書	<p>テキスト:プリントを授業時に随時配布する。 その他参考書:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省『中学校学習指導要領』一部改正 平成27年3月。 ・ 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』平成27年7月。 <p>以上のほか、授業内で随時案内する。</p>			
オフィスアワー	質問等は、授業の前後、および電子メール(m.kajikawa.uz@juntendo.ac.jp)で随時受け付ける。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	<p>中間課題は授業内で複数回検討のうえ提出し、授業内で返却する。 期末課題へのフィードバックはJUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行う。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	梶川 萌	<p>初回ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の進め方と評価の説明 ・ 履修者自身が受けてきた道徳教育の振り返り ・ 道徳教育の意義と課題の整理 	<p>予習:履修者自身が受けてきた道徳教育について振り返り、考えを整理する。(30分)文科省のHP等で、『中学校学習指導要領』および『中学校学習指導要領解説』の「特別の教科 道徳」を一読する。(60分)</p> <p>復習:授業を振り返り、道徳および道徳教育の意味や課題について意見をまとめる。(90分)</p>	
2	梶川 萌	<p>道徳の教育への理解を深める①:「いじめ」を解決することはできるか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の「いじめ」の問題化状況 ・ 「いじめ」と道徳教育についての様々な意見 	<p>予習:新聞・雑誌で、「いじめ」がどのように取り上げられているかを調べる。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」のメカニズムについての理論 ・「いじめ」への道徳科の可能な関わり方の検討 	
3	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育への理解を深める②:教育の「保護」の機能 ・モレンハウアーの「教育現実」の理論を概観 ・現実の問題を授業で取り扱う道徳教育実践の紹介と検討 	<p>予習:学校と社会における知識・常識について、ズレや違いはあるか、もしあるならどのようなものかについて考えをまとめる。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>
4	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の教育への理解を深める③:いのちの授業は成功するのか? ・いのちの授業の実践事例を概観 ・事例から題材や教材の選定、指導法、指導に際する留意点を確認 	<p>予習:「生」と「死」について、どのように学校内外で教えられた経験があるか振り返り、考えをまとめる。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>
5	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の教育への理解を深める④:規範を超えたものを教えることはできるか? ・「道徳」と「規範」との相違を考察 ・関連する心理学実験の知見を確認 ・「規範」と道徳教育の関係を検討 <p>* 中間課題「学習指導案の作成」について説明</p>	<p>予習:道徳科における内容のうち、教えられそうなものや教えにくそうなものはあるか、またそう考える理由はなぜか、考えをまとめる。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>
6	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の教育への理解を深める⑤:「悪」とは何か? ・子どもと「悪」の関係を考察 ・アレントの提示した「悪」についての考え 	<p>予習:履修者自身にとっての「悪」が成長するにつれて変化したかを振り返る。(30分)アレントについて調べる。(60分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>
7	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の教育への理解を深める⑥:道徳性は発達するか? ・コールバーグ「道徳性の発達」理論を概説 ・モラル・ジレンマについて説明 ・コールバーグに対するギリガンの批判を確認 	<p>予習:コールバーグとギリガンについて調べる。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>
8	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 1 道徳科の内容 ・道徳科の「内容」を確認 ・前回までの授業を道徳科の内容の観点から整理 2 道徳科の指導案の書き方 ・学習指導案の書き方を説明 ・道徳科における指導法等の留意点を確認 	<p>予習:『中学校学習指導要領解説』『特別の教科 道徳』を、特に「内容」と「指導計画の作成と内容の取り扱い」について再読する。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(30分)「理解を深める」編での授業を参考に、学習指導案を作成する。(60分)</p>
9	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導案の検討①:評価について ・履修者自身が作成した学習指導案をグループで検討 ・道徳科における評価について確認 ・教育と評価の関係を概説 	<p>予習:学習指導案を作成する。(60分)『中学校学習指導要領解説』『特別の教科 道徳』を、特に「道徳科の評価」について再読する。(30分)</p> <p>復習:学習指導案に授業内での検討内容を反映させ、更新する。(90分)</p>
10	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導案の検討②:指導法について ・履修者自身が修正した学習指導案をグループで検討 ・教材の扱いや発問の意義について概説 ・道徳科におけるアクティブ・ラーニングを説明 	<p>予習:『中学校学習指導要領解説』『総則』を読み、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の導入の狙いを確認する。(90分)</p> <p>復習:学習指導案に授業内の検討を反映し、更新する。(90分)</p>
11	梶川 萌	<ul style="list-style-type: none"> 日本の道徳教育の歴史①:戦前 * 中間課題の提出 * 期末論文課題の提示と説明 	<p>予習:戦前期の日本において、社会状況や制度が異なるなかで、教育や道徳は現在と同様に捉えられていたかを考察する。(90分)</p> <p>復習:授業の振り返りを行う。(90分)</p>

12	梶川 萌	日本の道徳教育の歴史②：戦後から現在まで	予習：戦後の日本では、社会・経済的条件が大きく変わる中で、教育と道徳が現在と同様に与えられてきたかを考察する。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
13	梶川 萌	道徳教育の現状と課題 ・教科の背景、および変化の要点 ・教科化についての多様な意見と論争点	予習：新聞・雑誌で、道徳教育や道徳に関わる社会問題がどのように取り上げられているかを調べる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
14	梶川 萌	道徳教育のこれからを考える ・授業で提示した各内容を整理 ・教育のテーマや方針の国際的動向と実践例を紹介 ・道徳科とクロスカリキュラム	予習：道徳教育および道徳科の指導にあたり、重要だと思われる点を3点あげて整理してみる。(90分) 復習：授業の振り返りを行う。(90分)
15	梶川 萌	全体の振り返りとまとめ * 期末論文課題の提出	予習：講義を通じ、道徳や道徳教育および道徳科について得た知見や不明点、認識した課題等について考える。(90分) 復習：道徳教育の意味と可能性について、履修者自身の考えをまとめるとともに、指導に際する留意点について改めて確認する。(90分)

2020/08/07(金)15:27

授業科目名	特別活動論	授業形態	講義
英語科目名	Extracurricular Activities	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	吉野 康子	ナンバリング	7012
科目担当者			
竹内秀一 吉野康子			
授業の概要			
<p>第1回・第2回で「特別活動」の教育課程における位置づけや歴史的変遷を明らかにし、その今日的な意義を理解させる。第3回から第10回までで「特別活動」のうちの各活動について、その現状と課題を認識させ、それらを踏まえた指導のあり方を考えさせる。第11回で「特別活動」の評価の仕方について理解させる。</p> <p>第12回は「総合的な学習(探究)の時間」について教育課程における位置づけや育成をめざす資質・能力などその目標について理解させる。第13回・第14回で「総合的な学習(探究)の時間」のカリキュラム・デザインや探求課題の設定、授業づくりのポイントなど指導のあり方について考えさせる。第15回では評価の視点について理解させるとともに授業のまとめを行う。</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校・高等学校の教育課程における「特別活動」および「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけや意義、内容、指導のあり方についての理解を深める。 2 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「特別活動」および「総合的な学習(探究)の時間」の授業を通じて、生徒が教科の学習で習得した力を総合的に発揮できるような指導力を身につける。 3 「特別活動」では、各教科の学習や「総合的な学習(探究)の時間」、生活指導・進路指導等と関連させた効果的な指導法を工夫する力を身につける。 4 「総合的な学習(探究)の時間」では、適切な課題設定のあり方や指導上の留意点等を踏まえ、他の教育活動とも連携させた授業をデザインする力を身につける。 			
成績評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> 1 成績評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ①100点を満点として成績を評価する。そのうち「特別活動」の指導法は70点、「総合的な学習の時間」の指導法は30点の割合とする。 ②「特別活動」の指導法については、定期試験の成績(50%)、講義ごとに提出してもらうリアクションペーパーの内容(30%)、授業への出席状況及び積極的な参加度(20%)を評価の対象とし、達成目標を踏まえ総合的に評価する。 ③「総合的な学習の時間」の指導法については、定期考査は実施せず、リアクションペーパーの内容を含む授業への積極的な参加度(80%)、レポート等(20%)を評価の対象とし、達成目標を踏まえ総合的に評価する。 2 成績評価基準 <ul style="list-style-type: none"> ①中学校・高等学校の教育活動における「特別活動」及び「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけや意義、内容、指導上のポイントを理解しているか。 ②「特別活動」に含まれる諸活動の現状と課題を踏まえた指導法を工夫し、それを実践する態度・意欲を身につけることができたか。 ③「総合的な学習(探究)の時間」における適切な課題設定のあり方、教科の学習との連携の仕方を理解し、それらを踏まえた授業を構築する意欲的な態度を身につけることができたか。 			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<ol style="list-style-type: none"> 1 中学校・高等学校の教員を真に志望している者、教職に強い関心を持っている者が受講すること。 2 ディスカッション等では積極的に発言し、履修者同士が互いに学び合う環境を作っていくことが望まれる。 3 授業に出席し、かつ積極的に参加することを評価の対象として重視する。正当な理由の無い遅刻・早退は認めない。 4 リアクションペーパーへの記述、授業の予習・復習については怠ることの無いよう真摯に取り組むこと。 			
テキスト・参考書			
《テキスト》			
とくになし(授業時に適宜プリントを配布する)			
《参考書・参考資料等》			
『中学校学習指導要領』、『高等学校学習指導要領』、『中学校学習指導要領解説 特別活動編』、『高等学校学習指導要領 特別活動編』、『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』、『高等学校学習指導要領 総合的な学習の時間編』、『特別活動論』(犬塚文雄編著／一藝社)、『中学校教育課程実践講座 総合的な学習の時間』(田村学編著／ぎょうせい)など			
オフィスアワー			
竹内 月曜日の授業終了後に教室又は第2教育棟3階非常勤講師室で質問等を受け付ける			
吉野 月曜日の14:20~14:50及び16:30~17:00			

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
1 リアクションペーパーについては、抜粋したものをプリントにまとめるなどして、授業中それについてコメントしたり議論の対象とするなど有効に活用する。			
2 定期試験については、JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行う。			
3 課題については、提出締切後、授業時間中に返却する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	竹内秀一	初回ガイダンス ○授業の目標や進め方、履修の仕方や評価方法について 1 新学習指導要領のポイントと特別活動の位置付け～「深い学び」につなげるために～	【予習】新学習指導要領の総則と特別活動の章を読み、疑問点などを整理しておくこと。(90分) 【復習】新学習指導要領のポイントと教育課程における特別活動の位置付けについてまとめる。(90分)
2	竹内秀一	2 特別活動の歴史的変遷～近代的教育制度の始まりから戦後までの特別活動の位置づけを振り返る～ 3 特別活動の基本的な性格～集団活動を通して「個」を育てる教育活動～	【予習】自らが経験した特別活動について発表できるように整理しておくとともに、その経験をもとに特別活動が学校教育において担っている役割について考察する。(90分) 【復習】特別活動の変遷について、何を転機としてどのように変化したかについてまとめる。また、特別活動の学校教育における意義や役割について整理する。(90分)
3	竹内秀一	4 学級活動・ホームルーム活動の目標・内容と指導のポイント～イジメを未然に防ぐクラスづくり～	【予習】自らが中学校・高校で経験した学級活動・ホームルーム活動について、その内容と課題を発表できるようにまとめる。(90分) 【復習】学級活動・ホームルーム活動の目標を踏まえ、効果的な指導の方法を考え、まとめる。(90分)
4	竹内秀一	5 生徒会活動の目標・内容と指導のポイント～全生徒をもって組織する自主的・自治的活動の意味～	【予習】自分が卒業した中学校・高校の生徒会活動について、とくに生徒会役員の役割、一般生徒の関わり方についてまとめ、発表できるようにする。(90分) 【復習】生徒会活動の目標と現状における課題を整理し、教員としての指導のあり方についてまとめる。(90分)
5	竹内秀一	6 部活動の現状と課題および指導のポイント～部活動のメリット、デメリットを考える～	【予習】自らが経験した部活動について、その問題点をあげ、自分なりの問題解決の方向性をまとめ、発表できるようにしておく。(90分) 【復習】生徒の視点と教員の視点からみた部活動のよりよいあり方について自分の考えをまとめる。(90分)
6	竹内秀一	7 学校行事の位置づけと儀式的行事のねらい～生徒の積極的関わりを促す指導のポイント～	【予習】自分が経験した入学式・卒業式について、その内容と改善点を発表できるようにまとめる。(90分) 【復習】学校における儀式的行事の意義を踏まえ、生徒が積極的に関わるができるような儀式的あり方について考察しまとめる。(90分)
7	竹内秀一	8 健康安全・体育的行事の現状および課題と教員の役割～とくに体育祭における安全の確保を中心に～	【予習】自分が体験した体育祭について、その内容と安全の確保に関わる課題についてまとめ発表できるようにしておく。(90分) 【復習】体育祭における事故事例について、その原因を踏まえ、改善の方向性を考察しまとめる。(90分)
8	竹内秀一	9 旅行・集団宿泊的行事の指導のポイント～「学び」の場としての修学旅行のあり方を考える～	【予習】自分が経験した修学旅行を踏まえ、修学旅行に関わる問題点を3つあげ、その解決策を考え発表できるようにしておく。(90分) 【復習】修学旅行を学校の教育課程全体の中に位置付けた指導計画を作り、指導上のポイントをまとめる。(90分)
9	竹内秀一	10 特別活動を要とするキャリア教育のあり方～キャリア教育のねらいと特別活動における指導のポイント～	【予習】新学習指導要領を読み込み、学校教育におけるキャリア教育のねらいやあり方について発表できるようにまとめる。(90分) 【復習】キャリア教育の要としての特別活動における指導のポイントについてまとめる。(90分)

10	竹内秀一	11 特別活動と生徒指導～特別活動の特色を生かした生徒指導のあり方～	【予習】生徒指導における特別活動の役割について、自分なりの考えをまとめておく。(90分) 【復習】特別活動の特色を生かして行う生徒指導の教育効果について説明できるようにまとめる。(90分)
11	竹内秀一	12 特別活動の評価と求められる視点・方法～特別活動の評価の観点と具体的な評価方法～	【予習】特別活動を評価する際の評価の3観点を具体的に挙げるようにまとめておく。(90分) 【復習】特別活動を評価するに当たって留意すべき点を整理し、まとめる。(90分)
12	吉野康子	13 学習指導要領における「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけとねらい～教育課程における「総合的な学習(探究)の時間」の位置づけや育成をめざす資質・能力～	【予習】新学習指導要領の総則と総合的な学習(探究)の時間の章を読み、疑問点などを整理しておくこと。(90分) 【復習】教育課程における総合的な学習(探究)時間の位置付けとその目標についてまとめる。(90分)
13	吉野康子	14 「総合的な学習(探究)の時間」のカリキュラム・デザイン～カリキュラム・デザインの考え方と全体計画・年間指導計画～	【予習】中学校・高校で経験した総合的な学習(探究)の時間の内容を振り返り、発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】教科の学習や特別活動との連携を踏まえた総合的な学習(探究)の時間の適切な位置付けについて整理し、まとめる。(90分)
14	吉野康子	15 「総合的な学習(探究)の時間」における課題設定と授業づくり～学年段階に応じた課題設定の視点と授業づくりのポイント～	【予習】総合的な学習(探究)の時間で設定するにふさわしい各学年段階に応じた探究課題を考え、発表できるようにまとめておく。(90分) 【復習】「主体的・対話的で深い学び」を実現する課題設定の視点、学びのプロセスを重視した授業づくりのポイントについてまとめる。(90分)
15	吉野康子	16 「総合的な学習(探究)の時間」の評価と求められる視点・方法～評価規準設定のポイントと具体的な評価方法～	【予習】総合的な学習(探究)の時間の目標に準拠した評価の観点を考え、まとめておく。(90分) 【復習】学習のプロセスを重視した評価とするための方法について整理し、まとめる。(90分)

2020/08/05(水)11:08

授業科目名	教育の方法と技術		授業形態	講義
英語科目名	Educational Methods and Techniques		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	白川 正樹		ナンバリング	7013
科目担当者				
白川 正樹				
授業の概要				
本授業は、これからの社会を担う生徒たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育方法の理論と実践、学習指導計画の作成と教材教具の活用、情報機器及び教材使用の意義と目的・活用方法、生徒の学習評価と授業評価など、授業を構成する上での必要な事項についての基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とする。				
授業の達成目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の成立に必要な教育方法や教育の技術の理論と実践に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・授業における情報機器及び教材の活用の意義と目的、生徒の情報活用能力(情報モラルを含む)育成に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・学習指導目標を達成するための年間指導計画・単元計画・学習指導案の作成に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・学習指導案の作成、教材・教具の活用、話法・板書、学習環境の整備など、授業を行う上での技術や要件に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・学習評価の方法や授業評価、カリキュラム・マネジメントに関する基礎的な知識・技能を身に付ける。 				
成績評価方法				
定期考査(50%)、レポート・授業への積極的参加度(30%)、模擬授業の準備と実施(20%)により総合的に評価する。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は遅刻・欠席・早退をせずに毎回の授業に積極的に取り組むとともに、授業の予習と復習を着実にすること。 ・本授業では受講者の主体的・対話的で深い学びを重視する。受講者相互が学び合う関係を構築できるように、積極的な態度で受講すること。 ・課題やレポート、リフレクションシートの作成と提出に着実に取り組むこと。 				
テキスト・参考書				
《テキスト》 プリントを授業時に配布する。				
《参考書・参考資料等》 (1) 文部科学省; 中学校学習指導要領, 東山書房 (2) 文部科学省; 高等学校学習指導要領, 東山書房				
オフィシアワー				
火曜日, 木曜日 10:00~14:00 場所: 教職課程指導室(616号) メールアドレス: m.shirakawa.um@juntendo.ac.jp				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業内で適宜フィードバックを行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	白川 正樹	ガイダンス 教育の方法論(その1) ー授業を構成する基礎的な要件ー (授業ガイダンス, 教育方法の基本的概念, 教授法の基本的概念, 授業設計, 生徒指導)	【予習】これまでの学習を踏まえて、授業づくりに必要な要素とは何かについて考えておくこと。(90分) 【復習】教育方法, 教授法, 授業設計, 生徒指導に関する基本的な概念について整理すること。(90分)	
2	白川 正樹	教育の方法論(その2) ー教育方法の歴史と基礎的理論ー (教授学のめばえ, 近代学校における教授法, 新教育運動における教授方法, 教育の現代化と教授理論)	【予習】教授方法や教授理論にはどのようなものがあるのか調べておくこと。(90分) 【復習】教育方法の理論と歴史についての概略, 教育界や教育方法の理論に影響を与えた代表的な教授理論の概要を整理すること。(90分)	
		教育の方法論(その3)	【予習】カリキュラムとは何か調べておくこと。(90分)	

3	白川 正樹	ーカリキュラム開発ー (カリキュラムとは何か, カリキュラム開発の基本的概念, 潜在的カリキュラム, カリキュラムの構造と類型)	【復習】カリキュラム開発と顕在的カリキュラム, 潜在的カリキュラムの概念を整理すること。(90分)
4	白川 正樹	教育の方法論(その4) ー教育課程と学習指導要領ー (教育課程と学習指導要領の基本的概念, 教科書と補助教材, 学習指導要領の変遷, 新学習指導要領)	【予習】新学習指導要領の改訂のポイント調べておくこと。(90分) 【復習】教育課程と学習指導要領の基本的な概念について整理すること。(90分)
5	白川 正樹	教育の技術(その1) ー教授と学習の形態ー (学校教師の役割論・責任論・指導技術論の前提, ATI論, マスタリーラーニング論, アクティブ・ラーニング)	【予習】アクティブ・ラーニングの目的や意義について調べておくこと。(90分) 【復習】教師の役割と授業の条件・前提及びATI, アクティブ・ラーニングの理念と課題を整理すること。(90分)
6	白川 正樹	教育の技術(その2) ー発問・板書・ノート指導の技術ー (発問の種類と方法, 板書の方法, 電子黒板の活用, ノート指導の方法, 机間指導の意義と方法)	【予習】電子黒板の活用方法や活用事例について調べておくこと。(90分) 【復習】発問や板書, ノート指導等の方法及び指導上の留意点を整理すること。(90分)
7	白川 正樹	教育の技術(その3) ー学習評価の理論と方法ー (学習評価に関する基本的な考え方, 学習評価の方法, 授業のための評価, オーセンティック評価「真正の評価」)	【予習】学習評価の目的と方法について調べておくこと。(90分) 【復習】学習評価に関する基本的な概念と評価方法を整理すること。(90分)
8	白川 正樹	情報機器及び教材の活用(その1) ー情報機器活用の意義と目的ー (情報機器活用の背景と目的, 教員に求められる情報機器活用能力, 情報機器活用における留意点と課題, 今後のICT環境整備の方向性)	【予習】授業で活用できる情報機器や教材にはどのようなものがあるか調べておくこと。(90分) 【復習】学校教育に情報機器の活用が求められる背景と目的を, 生徒が身につけるべき力との関連で整理すること。(90分)
9	白川 正樹	情報機器及び教材の活用(その2) ー授業における情報機器の活用ー (教科指導におけるICT活用の効果, 教科指導で活用するICT機器, 教科指導のためのICT環境の整備, 学習指導の準備と評価のためのICT活用, 授業でのICT活用)	【予習】授業で情報機器を活用している事例について調べておくこと。(90分) 【復習】授業における情報機器の活用方法と留意点を整理すること。(90分)
10	白川 正樹	情報機器を活用した授業づくり(その1) ー年間指導計画・単元計画・学習指導案の作成ー (情報機器を活用した年間指導計画・単元計画・学習指導案作成の留意点, 単元計画・学習指導案の作成)	【予習】模擬授業を行う英語の学習指導の単元を選択し, 単元のねらいを調べておくこと。(90分) 【復習】単元指導計画と学習指導案を作成すること。(90分)
11	白川 正樹	情報機器を活用した授業づくり(その2) ー模擬授業の実施①ー (作成した学習指導案の説明, 模擬授業の実施, 実施後の協議)	【予習】情報機器を用いた模擬授業の練習をしておくこと。(90分) 【復習】模擬授業実施後の協議を受けて, 学習指導案, 教材・教具などを改善すること。(90分)
12	白川 正樹	情報機器を活用した授業づくり(その3) ー模擬授業の実施②ー (作成した学習指導案の説明, 模擬授業の実施, 実施後の協議)	【予習】情報機器を用いた模擬授業の練習をしておくこと。(90分) 【復習】模擬授業実施後の協議を受けて, 学習指導案, 教材・教具などを改善すること。(90分)
13	白川 正樹	情報機器を活用した授業づくり(その4) ー模擬授業の実施③ー (作成した学習指導案の説明, 模擬授業の実施, 実施後の協議)	【予習】情報機器を用いた模擬授業の練習をしておくこと。(90分) 【復習】模擬授業実施後の協議を受けて, 学習指導案, 教材・教具などを改善すること。(90分)
14	白川 正樹	情報機器を活用した授業づくり(その5) ー模擬授業の実施④ー (作成した学習指導案の説明, 模擬授	【予習】情報機器を用いた模擬授業の練習をしておくこと。(90分) 【復習】模擬授業実施後の協議を受けて, 学習指導案, 教材・教具などを改善すること。(90分)

		業の実施, 実施後の協議)	
15	白川 正樹	模擬授業の振り返りと教育方法の改善 本講義のまとめ (授業づくりに必要な教育の方法と技術 についての総括, 模擬授業の振り返り と改善の方向性の理解)	【予習】 模擬授業の成果をまとめてレポートとして提出すること。 (90分) 【復習】 授業づくりに必要な教育の方法と技術について総括するこ と。(90分)

2020/07/30(木)11:28

授業科目名	生徒指導・進路指導論		授業形態	講義
英語科目名	Student Counseling and Guidance		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	多田出 正		ナンバリング	7014
科目担当者				
多田出 正(実務経験あり)				
授業の概要				
<p>「生徒指導」については、学校現場における非行問題行動、いじめ問題や不登校問題、社会の変化に伴い新たに発生している問題等、生徒指導上の諸問題について、それらの現実的な課題や、概要とその解決方法について、事例研究を中心にした授業を展開し、その原因や背景を的確に捉える力を身に付ける。「進路指導」については、進路指導が生き方指導であり、生徒の勤労観・職業観を育てる「キャリア教育」の一環であることの意義と課題、具体的取組等について、事例研究を取り入れた授業を展開し、具体的な対応策や指導の在り方など、必要な知識や素養を身に付ける。</p>				
授業の達成目標				
<p>・本授業は、学校教育の全領域と密接に関係している「生徒指導」と「進路指導」の理論と指導方法を検討し、学校教育における生徒指導、進路指導の在り方を探究する。特に、「非行問題行動・不登校問題に関する事例研究」、「いじめ問題に関する事例研究」、「進路指導・キャリア教育に関する事例研究」等を行い、実践的な指導の在り方の具体的な理解を図る。</p>				
成績評価方法				
<p>・次のとおり評価し、到達目標を踏まえた上で総合的に判断して単位を付与する。</p> <p>1 基礎となる評価:定期試験の成績、指示された課題の内容、出席時の授業への参加状況・態度</p> <p>2 積上げとなる評価:適時行うレポート(ワークシート)の提出状況とその質的内容</p> <p>・定期試験(50%)、課題、レポート等提出物(30%)、授業への積極的参加態度(20%)により総合的に評価する。</p>				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>・中学校や高等学校の教員を目指したい人は勿論のこと、教職に対して興味・関心をもっている人が受講する。</p> <p>・教員の講義からだけでなく、履修者相互が学び合う姿勢で主体的に受講する。</p> <p>・授業への出席は特別な事情がない限り、皆勤を基本とする。遅刻・早退をせず出席する。</p> <p>・成績評価は、定期考査の結果・講義の出席を重視する。加えて、課題の提出状況・内容、授業への取組等を総合して判定する。</p>				
テキスト・参考書				
<p>《《テキスト》》</p> <p>「生徒指導提要」(文部科学省)・・・第1回講義までに各自が購入し準備する。</p> <p>「学級経営ハンドブック」(多田出 正・土井 一博 共著 めんたるねっと社)・・・第1回講義にて購入する。</p> <p>《《参考書・参考資料等》》</p> <p>「中学校学習指導要領 総則編」、「中学校学習指導要領解説 総則編」、「中学校キャリア教育の手引き」、「高等学校学習指導要領 総則編」、「高等学校学習指導要領解説 総則編」、「高等学校キャリア教育の手引き」(文部科学省)</p> <p>* 上記参考書の準備等については、必要に応じて随時指示する。</p>				
オフィスアワー				
講義実施日(土曜日)の講義終了後、教室にて受け付ける。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
予習・復習で指示したレポート、講義内で実施した小テスト、レポート等は、最終講義終了後の授業内で返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	多田出 正	オリエンテーション (講義受講の留意点、講義展開の説明、評価の仕方、グループワーク等)	<p>【予習】講義に臨む心構え、教職への想い、生徒指導・進路指導についての各自の考えをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】講義全体のイメージをつかみ、生徒指導・進路指導とは何かについて、講義で指示した内容について、テキストの指示された部分を参考に、各自まとめる。(90分)</p>	
			<p>【予習】*「生徒指導提要」第4章の第1節・第2節を調べ、ポイントをまとめておく。</p>	

2	多田出正	学校における生徒指導、進路指導の組織体制と具体的な取組	<p>*「学習指導要領 総則」及び「学習指導要領解説 総則編」の進路指導に関する箇所、「中学校キャリア教育の手引き」第1章第2節を調べ、ポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】*生徒指導を行う学校内の組織体制と、取り組みについて、重要となるポイントについてまとめる。 *学習指導要領に記載されている、進路指導の意義と学校内の組織体制について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
3	多田出正	学校における生徒指導の意義と指導方法	<p>【予習】「学習指導要領総則編」及び「学習指導要領解説 総則編」の生徒指導に関する箇所と、「生徒指導提要」第1章を併せて調べ、生徒指導のポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】講義と「生徒指導提要」第1章を参考に、「生徒指導の意義と原理」の重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
4	多田出正	学級経営と生徒指導	<p>【予習】「生徒指導提要」第2章、第6章第4節を調べ、重要ポイントをまとめておく。(90分)</p> <p>【復習】生徒指導の基本となる「学級経営のあり方」について、自らの考えをA4版一枚程度にまとめ、指定期日に提出する。(90分)</p>
5	多田出正	<p>非行問題行動に関する事例研究</p> <p>(背景・要因について、個人研究、グループ協議)</p> <p>(具体的な対応策・指導の在り方について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p>	<p>【予習】非行問題行動を一つ取り上げ、その「背景と要因」、「具体的対応策、指導の在り方」を、A4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ協議を振り返り、非行問題行動の「背景と要因、対応策と指導の在り方」をまとめる。(90分)</p>
6	多田出正	<p>いじめ問題に関する事例研究Ⅰ</p> <p>(背景・要因等について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>*準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第6章第6節「いじめ」を調べ、その「背景と要因」を、A4一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ協議での内容を整理し、いじめ問題の「背景と要因」についてまとめる。(90分)</p>
7	多田出正	<p>いじめ問題に関する事例研究Ⅱ</p> <p>(具体的な対応策・指導の在り方について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>*準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第6章第6節「いじめ」について調べ、「具体的な対応策、指導の在り方」を、A4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ協議での内容を整理し、いじめ問題の「具体的な対応策、指導の在り方」についてまとめる。(90分)</p>
		不登校問題に関する事例研究	

8	多田出正	<p>(背景・要因等の分析・考察の個人研究、グループ協議) (具体的な対応策・指導の在り方の個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>* 準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第6章第12節を調べ、不登校の「背景と要因」、「具体的な対応策、指導の在り方」について、A4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】* 個人研究とグループ協議での内容を整理し、「不登校の背景と要因について」、「具体的な対応策と指導の在り方について」をまとめる。 * 非行問題行動、いじめ問題、不登校問題について、「背景と要因」、「具体的な対応策と指導の在り方」を、指定された様式(A4版一枚程度)にまとめ、指定期日に提出する。(90分)</p>
9	多田出正	<p>新たな生徒指導上の諸問題と生徒理解の充実</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第3章第1節を調べ、「現代の生徒指導において重要と考えられる視点」について、自らの考えをA4版一枚程度にまとめ、受講の資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】生徒の発達段階、特性に配慮した生徒理解の充実と、具体的な生徒指導について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
10	多田出正	<p>生徒の発達特性に配慮した、具体的な生徒指導体制の在り方</p>	<p>【予習】「生徒指導提要」第3章第2節を調べ、「発達障がい」の定義・特性等、重要と考えられるポイントについて、A4版一枚程度にまとめ、受講の資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】発達特性に配慮した、具体的な生徒指導体制の在り方について、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
11	多田出正	<p>学校における進路指導の意義と指導方法</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第1章 第1節・第2節、を調べ、重要ポイントについてをまとめ、受講の資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】進路指導は、キャリア教育の一環であること、生き方指導であること、等を踏まえ、重要ポイントをまとめる。(90分)</p>
12	多田出正	<p>進路指導・キャリア教育に関する事例研究Ⅰ</p> <p>(進路を選択する能力の系統的な育成について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>* 準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第3章第1節・第2節、並びに「学級経営ハンドブック」4 進路指導・キャリア教育の基本を調べ、重要ポイントをA4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】個人研究とグループ研究での内容を振り返り、将来の進路を選択する能力の育成についてまとめる。(90分)</p>
13	多田出正	<p>進路指導・キャリア教育に関する事例研究Ⅱ</p> <p>(中学校職場体験学習の意義と実際について、個人研究、グループ協議)</p> <p>・事例を基に個人研究とグループ協議を行う。</p> <p>* 準備した資料は講義終了後提出する。</p>	<p>【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第2章第5節、並びに「学級経営ハンドブック」4 進路指導・キャリア教育の基本を調べ、重要ポイントをA4版一枚程度にまとめ、協議資料を準備する。(90分)</p> <p>【復習】第11回～第13回の予習、個人研究とグループ研究の内容を振り返り、「中学校職場体験学習」の意義と課題、キャリア教育に占める重要性について、指定された様式(A4版一枚程度)にまとめ、指定期日に提出する。(90分)</p>
			<p>【予習】「学習指導要領」及び「学習指導要領解説 総則編」の、進路</p>

14	多田出 正	進路指導における、ガイダンス機能・カウンセリング機能の充実	指導・ガイダンスの機能の充実、並びに「中学校キャリア教育の手引き」第2章第2節・第3節、第3章第3節を調べ、重要ポイントをまとめておく。 (90分) 【復習】中学校3年間を見通した、進路指導・キャリア教育の指導計画作成について、重要ポイントをまとめる。 (90分)
15	多田出 正	学校・家庭・地域社会・関係諸機関との連携の在り方 「講義のまとめ」として定期考査	【予習】「中学校キャリア教育の手引き」第2章における「連携の推進」を調べ、重要ポイントをまとめておく。 (90分) 【復習】第1回～第14回迄の講義内容を踏まえ、「学校教育における生徒指導、進路指導・キャリア教育の重要性」について、各自の考えを整理し、“学校教育においては、連携なくして、生徒指導・進路指導等はできないこと”を理解する。 (90分)

2020/02/26(水)14:26

授業科目名	教育相談	授業形態	講義
英語科目名	Educational Counselling	開講学期	前期
対象学年	3	単位数	2
科目責任者	土井 一博	ナンバリング	7015
科目担当者			
土井 一博			
授業の概要			
<p>教職課程を履修する学生にむけた科目である。まず、教育相談の意義や役割、生徒指導との違いについて学習する。次に、教育相談の基礎的理論の学習の後、実際の学校現場で問題となっている「いじめ」「不登校」「発達障害」等の相談事例の対処法だけでなく、予防的な取り組みも含めた具体的援助法を学ぶ。また、実際の学校現場における教育相談の場面(例えば、保護者とに対する電話対応や職場の同僚とのコミュニケーションの取り方等)を想定して、ロールプレイ等を通して、教育相談的対応のスキルを学ぶ。</p>			
授業の達成目標			
<p>教育相談は、幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。</p> <p>幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身につける。</p>			
成績評価方法			
<p>1. 成績評価方法については、次の①から③までを基準とします。</p> <p>①講義中に出される課題についてのレポート評価(30%)</p> <p>②定期試験(50%)</p> <p>③パブリックスピーチやグループ討議における積極性や習熟度(20%)を統合して評価する。</p> <p>学校現場において、即戦力となりうるための様々な知識の習得や人とのかかわり方に関する実習を中心に授業を展開していく予定ですので、毎回の講義は出席するものという前提で考えております。</p> <p>2. 成績評価基準</p> <p>①「教育相談技法の習得」に関して、面接練習において、①相手の話を最後まで聞くことができるか。②自分の思いを大勢の前で、わかりやすく話すことができるか。</p> <p>②「教育相談の基礎知識」に関して、精神分析や自己理論、認知行動療法の骨子を理解しているか。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>①教員になるには自己分析(自分の長所・短所、自分の考え方の癖や行動のパターンを考える)をしっかりとしておくことも大切なことなので、この機会にしっかりと自分と向き合ってください。</p> <p>②自分の成長した部分を感じ取ることができれば、この講義を受ける大きな目的が達成されたこととなりますので、初回の講義を受けていた時の自分と最終講義を受けた時の自分とを比較してみる視点も大切にしてください。</p> <p>③学校現場の先生方をゲストティーチャーとしてお招きする予定ですので、教員採用試験の勉強の仕方や教員の仕事の実際について、積極的に聞いてみてください。</p> <p>④この教育相談の講義を通して、学校現場や教師の仕事イメージできるようになってくれると嬉しい限りです。</p>			
テキスト・参考書			
<p>①土井一博『学校を巡るメンタルヘルスカウンセラー』教職員の「心の病」予防システム きょういくネット</p> <p>②土井一博『月刊 学校教育相談』心が折れそうとき・折れてしまったとき(連載中) ほんの森出版</p> <p>③國分康孝『カウンセリングの技法』『カウンセリングと精神分析』 誠信書房</p> <p>④佐々木正美『いい人間関係ができる子に育てたい』友達作りの能力を伸ばす親の工夫 新紀元社</p> <p>授業中に配布されるプリントを中心に学習しますので、テキストは使いません。初回の授業開始までに①を読破しておくのが望ましい。</p>			
オフィシアワー			
<p>原則として、講義終了から60分。それ以外でも対応可です。メールでアポイントを取ってください。なお、学校現場を見学したり、教育ボランティアとして学校現場をお手伝いしてみたい学生は、積極的に申し出てください。</p>			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
Juntendo-Passportのクラスプロフィール機能を使用して行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)

1	土井 一博	<p>初回ガイダンス</p> <p>①授業者の自己紹介やグループワークを使って、自己開示や他者理解を深め、今後のグループ活動に活かす。</p> <p>②講義の進め方や評価方について説明をする。</p> <p>③予習・復習について、その時期とやり方、課題の提出の仕方についてガイダンスする。</p>	<p>【予習】</p> <p>テキスト「学級経営ハンドブック」～担任をするための基礎知識～(土井、多田出共著)の「学級担任としての心構え」の単元を読み、疑問点をピックアップしてくる。(90分)</p> <p>【復習】</p> <p>自分が教員を目指したきっかけや教職に就いて何をやりたいのかについてまとめWEBの所定欄に記入する。(90分)</p>
2	土井 一博	<p>学校現場の実情と教師の役割に関して理解を深めよう。</p> <p>①学校文化や学校独自のシステム、教員の仕事の一日の流れ等、学校組織や教師の役割の特色を学びながら、自分が教壇に立つイメージを膨らませる。</p> <p>②その際には、ある公立中学校で実際に使用されている職員会議の資料を使って、学校組織の構造を検討する。</p>	<p>【予習】</p> <p>授業中に配布された学校組織に関するレジュメを読み。感想や疑問に思ったことなどを書き留めておく。(90分)</p> <p>【復習】</p> <p>授業中で印象に残った学校組織の特徴についてまとめてWEB入力する。(90分)</p>
3	土井 一博	<p>生徒との信頼関係作りの基礎・基本を学ぶ。</p> <p>①何とんでも、教員として一番できないと辛いとされる、「生徒との信頼関係作り」を実際にどのような場面でどのような方法で行うかを学ぶ。</p> <p>②「生徒の話を最後まで聴くことができる教員の話は生徒も聞いてくれますから」 ↓ 話を聴くための「5つのツボ」を学習する。</p>	<p>【予習】</p> <p>カウンセリングの技法 國分康孝著 誠信書房を一読して授業に参加しておくこと(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>自分が面接実習を終えてみて、自分の課題や話を聴くときの「癖」について、WEBに書き出してみる(90分)。</p>
4	土井 一博	<p>教育相談の手法を活用した学級集団作りの実際</p> <p>①先生方の授業中や学活の時間の話し方一つで生徒は話を聴くようになりますから。 ↓ ②学活や保護者会等における効果的なスピーチの方法を学ぶ。</p> <p>③授業中に話を聴かない生徒がいた時の対処法などを学ぶ。</p>	<p>【予習】</p> <p>前回の実習を踏まえて、もう一度「カウンセリングの技法」を読み返してみる。(90分)</p> <p>【復習】</p> <p>授業中にどのような方法で子どもたちの思いを受け止めるか、また子どもとのかかわり方について、WEBに書き出してみる。(90分)</p>
5	土井 一博	<p>教育相談の基礎理論(1) 精神分析と面接練習</p> <p>①幼少期(過去)の出来事が現在の性格や問題行動の発生に影響を与えているといわれる精神分析理論のエッセンスを学ぶ。</p> <p>②ロールプレイやグループ活動の中で面接技法の習得をはかる。</p>	<p>【予習】</p> <p>参考図書「カウンセリングと精神分析 國分康孝 誠信書房」ほか、精神分析に関する著書を最低1冊読んで授業に参加する(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>精神分析理論のなかでも、「防衛機制」について、その種類と働きをWEBにまとめる(90分)。</p>

6	土井 一博	<p>教育相談の基礎理論(2)</p> <p>自己理論(ロジャーズの来談者中心療法)と面接練習2</p> <p>①自己不一致が諸悪の根源といわれる自己理論の骨子を学習する。</p> <p>②前回の「面接練習1」で学んだ面接技法の習熟度をさらに高めるために、人の話を聴くこと自体に抵抗感が少なくなるように努力をする。</p>	<p>【予習】</p> <p>自己理論(来談者中心療法)に関する著書を最低一冊、授業開始までに読破してくる(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>精神分析理論と自己理論との相違点や実際に面接場面でどのような使い方が出来るかをWEBにまとめる(90分)。</p>
7	土井 一博	<p>教育相談の基礎理論(3)</p> <p>認知行動療法と面接練習3</p> <p>①物事の受け止め方や考え方によってストレスは低減されるという認知行動理論について学習する。</p> <p>②教員に対して「口が重たい」生徒や「無視する態度をとる」生徒に対する話の聞き方を学習する。</p>	<p>【予習】</p> <p>認知行動療法に関する著書を最低1冊、授業までに読んでくる(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>寡黙な生徒や口が重たい生徒への対処法をWEBにまとめる(90分)。</p>
8	土井 一博	<p>教育相談の実際(1)</p> <p>①「あなたのクラスからいじめが発生」―― 学級担任としてまずどう動くのがよいのかをグループ討議を中心に検討する。</p> <p>②学校内で問題が発生した際の「初動の動き」の大切さを学び、担任になった際の財産の一つとして学んでいく。</p>	<p>【予習】</p> <p>「いじめ」の定義について、調べてWEBにまとめる(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>問題が発生した時の担任としての動き方の留意点について、WEBにまとめる(90分)。</p>
9	土井 一博	<p>教育相談の実際(2)</p> <p>発達的な凸凹を抱える生徒に対する十分な理解から始めよう。</p> <p>①発達障がい(アスペルガーやADHD等)についての正しい理解とその対処法について学習する。</p> <p>②学級内に心配な生徒がいた時の本人及び周囲の生徒に対する対処法を学ぶ。</p>	<p>【予習】</p> <p>発達障害に関する著書を1冊読んで、発達的な凸凹について学習する(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>注意欠陥多動障害(ADHD)やアスペルガー症候群についてその症状の特徴と対処法の注意点をWEBにまとめる(90分)。</p>
10	土井 一博	<p>教育相談の実際(3)</p> <p>学級担任として、不登校生徒の気持ちにどこまで寄り添えるか?</p> <p>①不登校に対する理解を深め、「どのようなステップを踏んで学級復帰を果たすのか」をグループ討議を交えながら検討する。</p> <p>②「不登校を学ぶ」よりも「不登校に学ぶ」姿勢を身につける。</p>	<p>【予習】</p> <p>テキスト「学級経営ハンドブック」～担任をするための基礎知識～(土井、多田出共著)の「いじめ問題への対応」の単元を読み、疑問点をピックアップしてくる(90分)。</p> <p>【復習】</p> <p>不登校を選択した子どもをどのような手順で支援していくかをWEBにまとめる(90分)。</p>

11	土井 一博	<p>子どもの発達の道筋に応じた支援の在り方を学ぶ。</p> <p>①特に「幼少期よりの母親とのかかわり」に焦点を当てながら、子どもの発達課題について理解を深める。</p> <p>②問題行動の背後にある家庭環境や親子関係の歪みを考えながら生徒支援を行える教員を目指す。</p>	<p>【予習】 参考図書4で紹介した、佐々木正美先生の著書を一読して参加する(90分)。</p> <p>【復習】 自分の成育歴を振り返り、母親やそれに代わる養育者から、「してもらったこと」、それに対して、自分が「して返したこと」をWEBに書き出してみる(90分)。</p>
12	土井 一博	<p>採用試験に合格して4月から教員になった現任教員を招いて、学校現場の実態や教員になった感想等について話を伺う。</p> <p>①教員を目指した動機やきっかけ等を聞く。</p> <p>②教員になる前となつてからは、どのような違いや戸惑いがあるかを聞く。</p> <p>③今、学校現場で一番課題となっていることは何かを聞く。</p> <p>④自分が描いていた学校現場のイメージを修正し、膨らませます。</p>	<p>【予習】 現職教員の話を伺うので、質問事項の整理(90分)</p> <p>【復習】 今年教員になったばかりの先生に話を聞いた直後の感想やまだ聞き足らなかった内容があればWEBにまとめる。後日、本人より回答を頂ける予定(90分)。</p>
13	土井 一博	<p>教員のメンタルヘルスの実態とその予防法を学ぶ。</p> <p>①精神疾患が理由で休職する教員が毎年多数発生している(病気が休職者の約6割が精神疾患が理由の休職者)。</p> <p>②休職に至るまでの過程を検証しながら、いかにセルフケアを効果的に行うかを検討する。</p> <p>③自分自身の抱えている課題がある学生は教員になるまでに解決しておくことをお勧めします。</p>	<p>【予習】 参考図書1、「学校を巡るメンタルヘルスカウンセラー」土井一博著を一読して参加する(90分)。</p> <p>【復習】 4月1日、教員生活がスタートして、5月の連休までの多忙を極める学校生活を乗り切るための対応策をWEBにまとめる(90分)。</p>
14	土井 一博	<p>学校不信の保護者対応や電話による苦情処理の方法を学ぶ。</p> <p>①保護者を想定したロールプレイを実習しながら、保護者に対する電話対応の大事な点を学習する。</p> <p>②担任一人で解決しようとせず、学年主任や教頭の力添えを得ながら解決していく過程を学ぶ。</p>	<p>【予習】 なぜ、いま学校現場では「保護者対応」がうまくいかずに病気休暇や休職者が増えているのか、その原因を自分なりに想像してWEBにまとめる(90分)。</p> <p>【復習】 自分よりも年上の保護者に対する接し方や対立関係にならないための留意点をWEBにまとめる(90分)。</p>
15	土井 一博	<p>教育相談に関する校内連携体制(養護教諭や教育相談員等)について、具体的な事例を通して、理解と課題を学習する。</p> <p>①校内連携体制を支えるそれぞれの役割を理解し、有機的な連携の方法についてグループ討議を通して学ぶ。</p> <p>↓</p> <p>定期試験へ</p>	<p>【予習】 テキスト「学級経営ハンドブック」～担任をするための基礎知識～(土井、多田出共著)の「不登校問題への対応」の単元を読み、疑問点をピックアップしてくる。(90分)</p> <p>【復習】 これまでに教育相談の講義を受けて、一番印象に残っていることやこれから採用試験を受けるにあたって不安な点や疑問があればWEBにまとめる。(90分)</p>

2020/02/26(水)15:37

授業科目名	教育実習I	授業形態	実習
英語科目名	Teaching Practicum I	開講学期	通年
対象学年	4	単位数	4
科目責任者	石田 美清	ナンバリング	7016
科目担当者			
石田 美清、白川 正樹、教職課程担当専任教員全員			
授業の概要			
教職課程の授業を通して学んだ知識をもとに、学校教育の現場に3～4週間という長期間赴き、教員としての知識・技術・態度を校長および指導教員のもとで実践的に身に付ける。その過程で、特に英語科教育の授業に必要な内容を実践的に学修する。			
授業の達成目標			
教育実習の目的は、実際の学校教育の場において教育活動・現実を経験することによって、教師として求められる資質・能力を身につけることにある。具体的には以下の通りである。			
①実践を通して、教育的実態を理解し、教育の在り方を探求すること。			
②実践を通して、教科を中心とする学習指導と生徒指導についての指導力を養うこと。			
③教科経営について理解し、実践すること。また、学級・学年経営について理解し、参加の経験をすること。			
④教員の職務と使命について、実践を通して理解すること。			
⑤部活動を含む教科外指導を積極的に行える力を養うこと。			
成績評価方法			
成績評価は、教育実習校の評価(95%)、実習日誌(5%)とする。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
①「教育実習」受講年度の前期受講登録時点において、卒業見込み及び実習校種・教科における教員免許状取得見込みであること。			
②「教育実習」受講の前年度末現在で、「教育実習事前・事後指導」の3年次後期開催の「事前指導」を履修していること。			
③「教育実習」開始までに、教育職員免許法施行規則に定められている科目の本学必要単位数を修得していること。			
④中学校免許取得希望者(中高両免希望者含む)は教育実習 I を履修すること。			
⑤履修カルテを作成し、提出済みであること。			
⑥遅刻、無断欠席は厳禁。			
テキスト・参考書			
【参考書】			
○文部科学省『中学校学習指導要領』東山書房、平成29年。			
○文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房、平成30年。			
○各学校が使用する教科書			
オフィスパワー			
オフィスパワー一覧表で確認のこと			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
教育実習校の指導教員による教育実習日誌のコメントをフィードバックすること。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	石田 美清 白川 正樹		
2	石田 美清 白川 正樹		
3	石田 美清 白川 正樹		
4	石田 美清 白川 正樹		
5	石田 美清 白川 正樹		
6	石田 美清 白川 正樹		
	石田 美清		

7	白川 正樹		
8	石田 美清 白川 正樹		
9	石田 美清 白川 正樹		
10	石田 美清 白川 正樹		
11	石田 美清 白川 正樹		
12	石田 美清 白川 正樹		
13	石田 美清 白川 正樹		
14	石田 美清 白川 正樹		
15	石田 美清 白川 正樹		

2020/02/26(水)15:38

授業科目名	教育実習II	授業形態	実習
英語科目名	Teaching Practicum II	開講学期	通年
対象学年	4	単位数	2
科目責任者	石田 美清	ナンバリング	7017
科目担当者			
石田 美清、白川 正樹、教職課程担当専任教員全員			
授業の概要			
教職課程の授業を通して学んだ知識をもとに、学校教育の現場に3～4週間という長期間赴き、教員としての知識・技術・態度を校長および指導教員のもとで実践的に身に付ける。その過程で、特に英語科教育の授業に必要な内容を実践的に学修する。			
授業の達成目標			
教育実習の目的は、実際の学校教育の場において教育活動・現実を経験することによって、教師として求められる資質・能力を身につけることにある。具体的には以下の通りである。			
①実践を通して、教育の実態を理解し、教育の在り方を探求すること。			
②実践を通して、教科を中心とする学習指導と生徒指導についての指導力を養うこと。			
③教科経営について理解し、実践すること。また、学級・学年経営について理解し、参加の経験をすること。			
④教員の職務と使命について、実践を通して理解すること。			
⑤部活動を含む教科外指導を積極的に行える力を養うこと。			
成績評価方法			
成績評価は、教育実習校の評価(95%)、実習日誌(5%)とする。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
①「教育実習」受講年度の前期受講登録時点において、卒業見込み及び実習校種・教科における教員免許状取得見込みであること。			
②「教育実習」受講の前年度末現在で、「教育実習事前・事後指導」の3年次後期開催の「事前指導」を履修していること。			
③「教育実習」開始までに、教育職員免許法施行規則に定められている科目の本学必要単位数を修得していること。			
④履修カルテを作成し、提出済みであること。			
⑤遅刻、無断欠席は厳禁。			
テキスト・参考書			
【参考書】			
○文部科学省『中学校学習指導要領』東山書房、平成29年。			
○文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房、平成30年。			
○各学校が使用する教科書			
オフィスアワー			
オフィスアワー一覧表で確認のこと			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
教育実習校の指導教員による教育実習日誌のコメントをフィードバックすること。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	石田 美清 白川 正樹		
2	石田 美清 白川 正樹		
3	石田 美清 白川 正樹		
4	石田 美清 白川 正樹		
5	石田 美清 白川 正樹		
6	石田 美清 白川 正樹		
7	石田 美清 白川 正樹		

8	石田 美清 白川 正樹		
9	石田 美清 白川 正樹		
10	石田 美清 白川 正樹		
11	石田 美清 白川 正樹		
12	石田 美清 白川 正樹		
13	石田 美清 白川 正樹		
14	石田 美清 白川 正樹		
15	石田 美清 白川 正樹		

2020/08/05(水)11:12

授業科目名	教育実習事前・事後指導		授業形態	講義
英語科目名	Practicum Preparation and Follow-up		開講学期	3年後期 4年前期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	石田 美清		ナンバリング	7018
科目担当者				
石田 美清、白川 正樹				
授業の概要				
<p>(1) 『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』をもとに、教育実習直前の準備を行う。</p> <p>(2) 実習時に参観をさせてもらう授業の見方などについて理解を深める。</p> <p>(3) 教育実習校で授業を行う準備として、中学校や高等学校の英語の学習指導内容について学習単元を担当し、具体的指導内容と指導方法を創造的に考えていく。また、担当した単元の中の1時間分(50分間)の授業構成(学習指導計画の作成、ワークシートなど教材教具の作成、学習指導方法の工夫など)、模擬授業の実践、全体での協議、模擬授業を振り返り学習指導内容や指導方法を改善することを通して、教育実習における授業実施への自信を高める。</p> <p>(4) 教育実習の経験を踏まえ、授業づくり、学級(HR)づくり、生徒理解などに関する感想や意見を受講者相互に交流し、課題や改善策などを確認する。</p>				
授業の達成目標				
事前指導においては、教職への意欲を高め、教育実習に行くのに必要な基本的知識と授業づくりの基本的な知識・技能を身に付けることを目標とする。また、事後指導においては、中学校・高等学校の教育実習の反省と総括を通して、教職に必要な実践的指導力の向上を図ることを目標とする。				
成績評価方法				
模擬授業の準備と実施(40%)、レポート(40%)、授業への積極的参加度(20%)により総合的に評価する。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>①「教育実習」受講年度の前期受講登録時点において、卒業見込み及び実習校種・教科における教員免許状取得見込みであること。</p> <p>②「教育実習」受講の前年度末現在で、「教育実習事前・事後指導」の3年次後期開催の「事前指導」を履修していること。</p> <p>③「教育実習」開始までに、教育職員免許法施行規則に定められている科目の本学必要単位数を修得していること。</p> <p>④遅刻、無断欠席は厳禁。</p>				
テキスト・参考書				
【テキスト】				
『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』				
【参考書】				
○文部科学省『中学校学習指導要領』東山書房、平成29年。				
○文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房、平成30年。				
オフィスパワー				
オフィスパワー一覧表で確認のこと				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』の中の教育実習のページをしっかりと読んでおくこと。また、期末レポートを作成する際には、模擬授業に向けて作成した各種資料と実施後の協議や評価をもとに、模擬授業に対する改善点をしっかりと見いだすこと。また、4年次の初めに行う導入部分の模擬授業の実施後の協議や評価をもとに、教育実習で実際に行う授業に対する改善点をしっかりと見いだすこと。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石田 美清 白川 正樹	教育実習の基礎知識 -教育実習の役割と実習における心構え-; 本授業の進め方を理解できる。また、教育実習の事前指導として、教育実習の役割と実習における心構えなどについて、理解を深めることができる。	【予習】『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』の中の教育実習のページを読んでおくこと。(90分) 【復習】教育実習の役割と実習における心構えについて整理しておくこと。(90分)	
2	石田 美清 白川 正樹	教育実習における授業設計(1) -授業づくりの基本-; 教育実習中に指導する可能性のある英語の単元を選択し、単元のねらいを達	【予習】教育実習中に指導する可能性のある英語の単元を選択し、単元のねらいを達成するための授業の内容と方法について構想すること。(90分)	

		成するための授業の内容と方法について構想することができる。	【復習】単元のねらいを達成するための授業の内容と方法について整理すること。(90分)
3	石田 美清 白川 正樹	教育実習における授業設計(2) -学習指導案の作成と検討-; 単元全体の授業構成を考案し、授業1時間分(50分間)の学習指導計画書(学習指導案)(板書計画を含む)を作成することができる。	【予習】単元のねらいを達成するための学習指導案を構想すること。(90分) 【復習】作成した学習指導案を検討し、改善すること。(90分)
4	石田 美清 白川 正樹	教育実習における授業設計(3) -模擬授業の準備-; 作成した学習指導案に基づいたワークシートなどの教材や教具を作成し、模擬授業の準備を行うことができる。	【予習】作成した学習指導案に基づいた教材や教具を構想すること。(90分) 【復習】作成した教材・教具を検討し、改善すること。(90分)
5	石田 美清 白川 正樹	模擬授業の実施と協議(1); 作成した学習指導案の説明、模擬授業の実施、実施後の協議を行うことにより、学習指導案、教材・教具などを改善する方向性を理解できる。	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分) 【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
6	石田 美清 白川 正樹	模擬授業の実施と協議(2); 作成した学習指導案の説明、模擬授業の実施、実施後の協議を行うことにより、学習指導案、教材・教具などを改善する方向性を理解できる。	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分) 【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
7	石田 美清 白川 正樹	模擬授業の実施と協議(3); 作成した学習指導案の説明、模擬授業の実施、実施後の協議を行うことにより、学習指導案、教材・教具などを改善する方向性を理解できる。	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分) 【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
8	石田 美清 白川 正樹	模擬授業の実施と協議(4); 作成した学習指導案の説明、模擬授業の実施、実施後の協議を行うことにより、学習指導案、教材・教具などを改善する方向性を理解できる。	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分) 【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
9	石田 美清 白川 正樹	実習課題の明確化 -教育実習に向けた決意-; 教育実習に行くにあたり、どのような課題意識をもって実習に臨もうと考えるのか。また、その課題に対して教育実習までにどのような準備をしようとするのか、その具体的方策について考えることができる。	【予習】模擬授業の成果をまとめてレポートとして提出すること。(90分) 【復習】教育実習に行くにあたり、どのような課題意識をもって実習に臨もうと考えるのか。また、その課題に対して教育実習までにどのような準備をしようとするのか、その具体的方策について整理すること。(90分)
10	石田 美清 白川 正樹	教育実習直前の準備(1); 本授業の進め方を理解できる。また、『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』をもとに、教育実習の意義とねらい、教育実習の日々などについて理解を深めることができる。	【予習】『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』を読み、教育実習の意義とねらいを確認すること。(90分) 【復習】教育実習の意義とねらい、教育実習の日々などについて整理すること。(90分)
11	石田 美清 白川 正樹	教育実習直前の準備(2); 『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』をもとに、学級づくり、授業づくりなどについて理解を深めることができる。	【予習】『順天堂大学国際教養学部 教職課程履修者の手引』を読み、学級づくり、授業づくりなどについて確認すること。(90分) 【復習】教育実習における学級づくり、授業づくりなどについて整理すること。(90分)
12	石田 美清 白川 正樹	教育実習直前の準備(3); 教育実習で行う授業単元について、導入の5分間について模擬授業を実施、協議を通して、授業技術と授業への自信を高めることができる。	【予習】教育実習で行う授業単元の導入の内容や方法を検討し、模擬授業の準備を行うこと。(90分) 【復習】実施後の評価を受け、単元の導入の内容や方法を改善すること。(90分)
		教育実習直前の準備(4);	【予習】教育実習で行う授業単元の導入の内容や方法を検討し、模

13	石田 美清 白川 正樹	教育実習で行う授業単元について、導入の5分間について模擬授業を実施、協議を通して、授業技術と授業への自信を高めることができる。	擬授業の準備を行うこと。(90分) 【復習】実施後の評価を受け、単元の導入の内容や方法を改善すること。(90分)
14	石田 美清 白川 正樹	事後指導(1); 教育実習の経験を踏まえ、授業づくりに関する感想や意見を受講者相互に交流し、課題や改善策などを確認することができる。	【予習】教育実習の経験を踏まえ、授業づくりに関する感想や意見をまとめておくこと。(90分) 【復習】意見交流を踏まえ、授業づくりに関する課題や改善策について整理すること。(90分)
15	石田 美清 白川 正樹	事後指導(2); 教育実習の経験を踏まえ、学級(HR)づくり、生徒理解などに関する感想や意見を受講者相互に交流し、課題や改善策などを確認することができる。	【予習】教育実習の経験を踏まえ、学級(HR)づくり、生徒理解などに関する感想や意見をまとめておくこと。(90分) 【復習】意見交流を踏まえ、学級(HR)づくり、生徒理解などに関する課題や改善策について整理すること。(90分)

2020/02/26(水)15:41

授業科目名	教職実践演習(中・高)		授業形態	講義
英語科目名	Practical Teaching Training (Jr/Sr HS)		開講学期	後期
対象学年	4		単位数	2
科目責任者	石田 美清		ナンバリング	7019
科目担当者				
石田 美清、白川 正樹、小野田 榮				
授業の概要				
<p>中学校および高等学校の教員免許取得者を対象に、「教職に関する科目」および「教科に関する科目」の履修を通して得られた知見と課題を確認しながら、教師として必要な知識と技能、資質能力習得に向けた補足的、発展的学習を行なう。そのために、本授業ではグループ討議や場面分析、役割演技、模擬授業の実践を中心とした演習をベースに、学校現場の見学や調査、教員経験者からの講演など様々な方法を取り入れながら、受講者の学修内容に関する補完的な指導と問題の把握を行う。学習指導・生徒指導及び学級経営・学校経営をめぐる多様な課題に対応するためのスキルアップを図り、教育現場で教師として必要な知識技能と資質能力の総点検を行う。</p>				
授業の達成目標				
<p>以下の項目について、本学の基準に到達していることを目標とする。</p> <p>①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 ②社会性や対人関係能力に関する事項 ③幼児児童生徒理解や学級経営等に関する事項 ④教科・保育内容等の指導力に関する事項</p>				
成績評価方法				
成績評価は、レポート(50%)、模擬授業の準備と実施(50%)による。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>①履修カルテを作成し、提出済みであること。 ②原則として、公立学校の教員採用試験もしくは私立学校の採用試験を受験のこと。 ③無断欠席、遅刻は厳禁。</p>				
テキスト・参考書				
<p>【参考書】 ○文部科学省『中学校学習指導要領』東山書房、平成29年。 ○文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房、平成30年。 ○各学校が使用する教科書。</p>				
オフィスアワー				
オフィスアワー一覧表で確認のこと				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
<p>第1回目の中間レポートを作成する際には、第1回～第6回の授業時で作成・検討した単元構想図をしっかりと振り返ること。また、第2回目の期末レポートを作成する際には、模擬授業に向けて作成した各種資料と実施後の協議や評価をもとに、模擬授業に対する改善点をしっかりと見いだすこと。</p>				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	教育実習から得られた課題の分析 -授業実践について-; 本講の概要と進め方を確認する。また、教育実習の授業実践を振り返り、課題とその改善の方向性について検討することができる。	【予習】教育実習の授業実践を振り返り、よかった点と改善の必要な点を考えておくこと。(90分) 【復習】教育実習の授業実践を参考に、よりよい授業づくりの方向性を整理すること。(90分)	
2	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	単元構想の作成と検討(1) -単元の選択-; 中学校もしくは高等学校の英語のカリキュラム全体を検討し、1単元を選択する。その上で、どのような授業計画をするのか構想することができる。	【予習】中学校もしくは高等学校の英語のカリキュラム全体を確認しておくこと。(90分) 【復習】中学校もしくは高等学校の英語の1単元をどのように学習指導するのか授業計画を整理すること。(90分)	
		単元構想の作成と検討(2)		

3	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	-先行事例の研究-; 関連する既存の事例(教科カリキュラムの先行事例)を調査・収集する。また、収集した先行事例について教科カリキュラム上の特色(単元の相互関連性や年間指導計画など)の視点、地域の特性や子どもの特性の視点から分析し、その意義と課題を明らかにすることができる。	【予習】選択した学習単元に関連する既存の事例(教科カリキュラムの先行事例)を調査・収集すること。(90分) 【復習】収集した先行事例について、その意義と課題を整理すること。(90分)
4	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	単元構想の作成と検討(3) -単元構想の作成-; 単元全体の学習指導計画を作成していく方向性を検討し、開発に必要な資料を持ち寄り、教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を検討・開発することができる。	【予習】教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を考えること。(90分) 【復習】教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を作成すること。(90分)
5	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	単元構想の作成と検討(4) -単元構想の検討-; 開発した教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を、教科としての目標面、子どもの発達課題、教材の深化などの側面から再検討することができる。	【予習】開発した教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を検討すること。(90分) 【復習】教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を改善し、単元構想図を作成すること。(90分)
6	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	作成した単元構想の発表と検討; 各プロジェクトチームで検討・開発した教科カリキュラム案(単元全体の学習指導計画などの単元構想)を全体に発表し、改善点を検討することができる。	【予習】開発した単元構想図の発表準備をすること。(90分) 【復習】発表後の協議や評価を受けて、単元構想図を改善すること。(90分)
7	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	優れた教育実践に学ぶ(1) -中学校英語科授業の参観-; 授業力の高い英語科教師による授業を直接参観し、教育効果を高める授業づくりの内容や方法について理解を深めることができる。	【予習】開発した単元構想図をまとめてレポートとして提出すること。(90分) 【復習】授業力の高い教師の授業づくりの内容や方法について整理すること。(90分)
8	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	優れた教育実践に学ぶ(2) -実践的指導力の高い教師に学ぶ-; 実践的指導力の高い教師による授業づくり、学級づくり、生徒理解などに関する講話や協議を通して、教師としての実践的指導力を高めることができる。	【予習】実践的指導力の高い教師とはどのような教師なのか考えておくこと。(90分) 【復習】実践的指導力の高い教師による授業づくり、学級づくり、生徒理解の方法などについて整理すること。(90分)
9	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	単元構想に基づいた授業づくりの検討(1); 改善した教科カリキュラム(単元全体の学習指導計画などの単元構想)の中から、授業1時間分(50分間)の授業の内容と方法について構想することができる。	【予習】本時の学習のねらいを達成するための授業の内容と方法について構想すること。(90分) 【復習】本時の学習のねらいを達成するための授業の内容と方法について整理すること。(90分)
10	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	単元構想に基づいた授業づくりの検討(2); 本時の学習のねらいを達成するための学習指導計画書(学習指導案)(板書計画を含む)を作成することができる。	【予習】本時の学習のねらいを達成するための学習指導案を構想すること。(90分) 【復習】作成した学習指導案を検討し、改善すること。(90分)
11	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	単元構想に基づいた授業づくりの検討(3); 作成した学習指導案に基づいたワークシートなどの教材や教具を作成し、模擬授業の準備を行うことができる。	【予習】作成した学習指導案に基づいた教材や教具を構想すること。(90分) 【復習】作成した教材・教具を検討し、改善すること。(90分)
	石田 美清	授業づくりに関する発表(模擬授業の実施)と評価(1);	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分)

12	白川 正樹 小野田 榮	改善した単元構想や開発した教材を用いた模擬授業と相互評価を行い、改善の視点について追究することができる。	【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
13	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	授業づくりに関する発表(模擬授業の実施)と評価(2); 改善した単元構想や開発した教材を用いた模擬授業と相互評価を行い、改善の視点について追究することができる。	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分) 【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
14	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	授業づくりに関する発表(模擬授業の実施)と評価(3); 改善した単元構想や開発した教材を用いた模擬授業と相互評価を行い、改善の視点について追究することができる。	【予習】予め模擬授業の練習をすること。(90分) 【復習】実施後の協議を受けて、学習指導案、教材・教具などを改善すること。(90分)
15	石田 美清 白川 正樹 小野田 榮	本講の総括 -教員に必要な資質の再確認-; 教員として適切な行動を取ることのできる社会性、判断力及び保護者、他の教員と強調できる柔軟性を身につけることができる。	【予習】模擬授業の成果をまとめてレポートとして提出すること。(90分) 【復習】教員に必要な資質について整理し、教員として巣立つ心構えをもつこと。(90分)